

◆ 個別事業の実施状況

《活動達成度・成果達成度》

5:数値目標の100%以上
4:数値目標の80%以上100%未満
3:数値目標の60%以上80%未満
2:数値目標の60%未満

1:未実施
-:その他

《評価》

A:順調に取り組んでいる
B:概ね順調に取り組んでいる
C:より積極的な取り組みが必要
D:課題が多く見直しが必要
-:評価困難

☆:例外的な評価をした事業、目標値を変更した事業

施策の方針	取り組みの方向	No	事業名	所管課所	ページ	活動	成果	R7評価	【参考】 R6評価
基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり									
1 男女共同参画社会形成のための意識啓発	(1)広報・啓発の充実	1	男女共同参画推進のための講座等の開催	男女共同参画支援センター	16	4	5	A	A
		2	男女共同参画情報誌の発行	男女共同参画支援センター	16	5	5	A	A
		3	男女共同参画情報を選択・判断する力を育成する事業の実施	男女共同参画支援センター	17	5	5	A	A
		4	男女共同参画推進のためのパネル展示等の実施	男女共同参画支援センター	17	5	5	A	A
		5	男女共同参画推進のための出前講座等の実施	男女共同参画支援センター	18	5	5	A	A
		6	男女共同参画推進週間における事業の実施	男女共同参画支援センター	18	5	5	A	A
		7	市民との協働による事業の実施	男女共同参画支援センター	19	5	4	A	A
		8	支援センター登録団体等との協働による事業の実施	男女共同参画支援センター	19	5	5	A	A
		9	男女共同参画に関する図書の貸出し	男女共同参画支援センター	20	2	5	D	C
		10	ジェンダーの視点を踏まえた刊行物等作成のための啓発	人権・男女共同参画推進課	20	5	4	A	A
		11	市民への男女共同参画苦情処理委員の周知	人権・男女共同参画推進課	21	5	4	A	A
		12	職員に対する男女共同参画の啓発	人事課	21	5	4	A	A
	(2)性の多様性に関する理解の促進と支援	13	性の多様性の理解促進に関する講座の開催	男女共同参画支援センター	22	5	3	C	A
		14	性的少数者への理解促進のための職員研修の実施	人権・男女共同参画推進課	22	3	4	C	C
		15	性的少数者への理解促進のための啓発	人権・男女共同参画推進課	23	5	4	A	A
(3)国際理解の推進		16	国際的な動向についての情報提供	人権・男女共同参画推進課	24	5	4	A	A
2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進	(1)学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進	17	家庭における固定的な役割分担意識の解消に関する講座の開催	男女共同参画支援センター	25	5	5	A	A
		18	保護者に向けた啓発資料の配付	人権・男女共同参画推進課	25	5	4	A	A
		19	教職員に向けた啓発資料の配付	人権・男女共同参画推進課	26	5	4	A	A
		20	若年層に向けた男女共同参画推進条例リーフレットの配付	人権・男女共同参画推進課	26	5	5	A	A
		21	教職員への男女共同参画に関する研修会の実施	指導課	27	5	5	A	A
		22	キャリア教育の推進	指導課	27	5	5	A	A
基本目標Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり									
3 女性の活躍の推進	(1)女性の人材育成と審議会等への登用の推進	23	審議会等における女性の登用推進のための講座の開催	男女共同参画支援センター	28	5	5	A	A
		24	審議会等への女性の登用推進	人権・男女共同参画推進課	28	4	5	A	A
		25	男女共同参画チャレンジリスト登録者への情報提供	人権・男女共同参画推進課	29	4	4	B	A
		26	女性職員の人材育成・登用促進	人事課	29	5	4	A	A
		27	女性消防吏員の活躍支援事業	消防総務課	30	5	5	A	A

☆

《活動達成度・成果達成度》

5:数値目標の100%以上
4:数値目標の80%以上100%未満
3:数値目標の60%以上80%未満
2:数値目標の60%未満
1:未実施
-:その他

《評価》

A:順調に取り組んでいる
B:概ね順調に取り組んでいる
C:より積極的な取り組みが必要
D:課題が多く見直しが必要
-:評価困難

☆:例外的な評価をした事業、目標値を変更した事業

施策の方針	取り組みの方向	No	事業名	所管課所	ページ	活動	成果	R7評価	【参考】 R6評価
3 女性の活躍の推進	(2)女性の就業・起業のための支援	28	女性のための就職支援セミナー	経済振興課	31	5	4	A	D
		29	女性の就業支援事業	経済振興課	31	3	2	D	D
		30	女性創業者の育成支援	経済振興課	32	5	5	A	A
		31	女性の起業支援に関する講座の開催	男女共同参画支援センター	32	5	5	A	A
		32	家族経営協定の推進	農業振興課	33	5	5	A	A
		33	女性の農業従事者支援	農業振興課	33	5	5	A	A
	(3)ハラスメント対策の充実	34	就労に関する法制度や職場におけるハラスメントに関する講座の開催	男女共同参画支援センター	34	5	5	A	A
		35	ワーク・ライフ・バランスやハラスメント防止の普及・啓発	人権・男女共同参画推進課	34	5	4	A	A
		36	職員に対するハラスメント対策の充実	安全衛生管理課	35	5	4	A	A
4 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	(1)職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進	37	事業者を対象とした男女共同参画に関する事業の実施	男女共同参画支援センター	36	5	5	A	A
		38	男性職員の育児休業取得のための啓発	人事課	36	5	4	A	A
	(2)家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	39	男性の男女共同参画推進のための事業の実施	男女共同参画支援センター	37	5	5	A	A
		40	育児・介護等と仕事の両立支援のための事業の実施	男女共同参画支援センター	37	5	5	A	A
		41	育児期の女性の就労継続を支援する講座の開催	男女共同参画支援センター	38	5	5	A	A
		42	障がい者介護支援	障害福祉課	38	4	5	A	A
		43	障がい児介護支援	こども福祉課	39	5	5	A	A
		44	高齢者介護支援	地域包括ケア課	39	4	4	B	B
		45	父親サロンの開催	こども政策課	40	4	4	B	B
		46	送迎保育の実施	保育支援課	40	4	2	D	D
		47	一時預かりの実施	保育支援課	41	5	4	A	A
		48	保育所運営(市立)	保育施設課	41	4	4	B	A
		49	延長保育の実施	保育支援課	42	4	4	B	B
		50	病児等保育の実施	保育支援課	42	5	5	A	A
		51	保育所(園)入所(園)事業(私立等)	保育支援課	43	5	5	A	B
		52	学童保育室運営	保育施設課	43	5	5	A	A
		53	父親を対象とした子育て講座の開催	児童館コスモス	44	5	5	A	A
		54	父親を対象とした子育て講座の開催	児童館ヒマワリ	44	5	5	A	A
		55	両親学級の開催	こども家庭センター	45	3	5	C	B
		56	男性の生活自立能力開発のための講座の開催	健康づくり推進課	45	4	5	A	A

☆

《活動達成度・成果達成度》

5:数値目標の100%以上
4:数値目標の80%以上100%未満
3:数値目標の60%以上80%未満
2:数値目標の60%未満

1:未実施
-:その他

《評価》

A:順調に取り組んでいる
B:概ね順調に取り組んでいる
C:より積極的な取り組みが必要
D:課題が多く見直しが必要
-:評価困難

☆:例外的な評価をした事業、目標値を変更した事業

施策の方針	取り組みの方向	No	事業名	所管課所	ページ	活動	成果	R7評価	【参考】 R6評価
基本目標Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり									
5 地域社会における男女共同参画の推進	(1)男女共同参画の視点を踏まえた地域活動の推進	57	民生委員・児童委員等への意識啓発	福祉総務課	46	4	4	B	C
		58	ファミリーサポートセンター事業の充実	こども政策課	46	4	4	B	B
	(2)男女共同参画の視点を踏まえた地域防災の推進	59	防災活動における男女共同参画の啓発	男女共同参画支援センター	47	5	5	A	A
		60	防災活動における女性の参画促進	危機管理室	47	5	4	A	A
		61	防災備蓄品における女性への配慮	危機管理室	48	5	5	A	A
		62	防災活動における女性消防団員の参画	警防課	48	5	5	A	A
	(3)誰もが安心して暮らせる環境の整備	63	困難を抱える女性を支援するための事業の実施	男女共同参画支援センター	49	5	5	A	A
		64	外国人市民のための情報提供	市民活動支援課	49	5	4	A	A
		65	生活困窮者自立支援制度による支援	生活福祉課	50	5	5	A	A
		66	障がい者福祉制度による支援	障害福祉課	50	5	5	A	A
		67	介護(予防)サービス事業の実施	介護保険課	51	5	5	A	A
		68	介護保険に関する情報提供	介護保険課	51	2		—	—
		69	母子生活支援施設への入所	こども家庭センター	52	5	5	A	A
		70	母子家庭等の就労支援	こども福祉課	52	5	5	A	A
		71	母子家庭等の生活支援	こども福祉課	53	5	5	A	A
6 生涯を通じた心身の健康づくり	(1)男女の性と人権尊重の理解の推進	72	性と生殖に関する健康と権利についての講座の開催	男女共同参画支援センター	54	3	5	C	A
		73	生涯を通じた女性の健康に関する講座の開催	健康づくり推進課	54	4	5	A	A
		74	女性特有の疾病の予防・啓発(乳がん)	健康づくり推進課	55	3	4	C	B
		75	女性特有の疾病の予防・啓発(子宮頸がん)	健康づくり推進課	55	4	4	B	B
		76	男性特有の疾病の予防・啓発(前立腺がん)	健康づくり推進課	56	3	3	C	C
		77	思春期保健講座の開催	こども家庭センター	56	4	5	A	A
		78	不妊治療費の助成	感染症保健対策課	57			—	—
	(2)こころとからだの相談等の充実	79	女性相談の実施	人権・男女共同参画推進課	58	5	5	A	A
		80	女性のための法律相談の実施	人権・男女共同参画推進課	58	5	5	A	A
		81	人権相談の実施	人権・男女共同参画推進課	59	5	4	A	A
		82	女性の保護・支援	こども家庭センター	59	5	5	A	A
		83	精神保健福祉相談の実施	こころの健康支援室	60	4	4	B	B

☆

☆

☆

☆

《活動達成度・成果達成度》

5:数値目標の100%以上
4:数値目標の80%以上100%未満
3:数値目標の60%以上80%未満
2:数値目標の60%未満
1:未実施
-:その他

《評価》

A:順調に取り組んでいる
B:概ね順調に取り組んでいる
C:より積極的な取り組みが必要
D:課題が多く見直しが必要
-:評価困難

☆:例外的な評価をした事業、目標値を変更した事業

施策の方針	取り組みの方向	No	事業名	所管課所	ページ	活動	成果	R7評価	【参考】 R6評価
基本目標Ⅳ 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶									
7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援	(1)啓発活動の推進	84	デートDV防止に関する講座等の実施	男女共同参画支援センター	61	5	5	A	A
		85	デートDV防止の啓発	人権・男女共同参画推進課	61	5	5	A	A
		86	「女性に対する暴力をなくす運動」期間中の集中的な啓発	男女共同参画支援センター	62	5	5	A	A
		87	市民を対象とした講演等によるDV防止の啓発	人権・男女共同参画推進課 男女共同参画支援センター	62	5	5	A	A
		88	広報紙及びホームページによるDV防止の啓発	人権・男女共同参画推進課	63	5	4	A	A
		89	DV・児童虐待発見のための保健医療従事者に対する意識啓発	庶務課	63	5	5	A	A
	(2)相談支援体制の充実と被害者の安全確保	90	DV相談窓口の周知	人権・男女共同参画推進課	64	5	5	A	A
		91	DV相談の実施	人権・男女共同参画推進課	64	4	4	B	B
		92	DVに関する法律相談の実施	人権・男女共同参画推進課	65	5	5	A	A
		93	女性の緊急一時保護の実施	こども家庭センター	65	5	5	A	A
	(3)自立に向けた支援体制の充実	94	DV・女性相談による関係機関等への同行支援	人権・男女共同参画推進課	66	5	5	A	A
		95	住民基本台帳事務における支援措置	市民課	66	5	5	A	A
		96	国民年金制度に関する情報提供	国保年金課	67	5	5	A	A
		97	生活保護制度による支援	生活福祉課	67	5	5	A	A
		98	高齢の被害者への支援	地域包括ケア課	68	5	5	A	A
		99	保育所入退所時の支援	保育支援課	68	5	5	A	A
		100	学童保育室入退所時の支援	保育施設課	69	5	5	A	A
		101	予防接種・健診等における支援	健康づくり推進課	69	5	5	A	A
		102	国民健康保険等への加入相談	国保年金課	70	5	5	A	A
		103	就学における支援	学務課	70	5	5	A	A
	(4)関係機関との連携強化	104	二次的被害防止のための職員研修の実施	人権・男女共同参画推進課	71	4	5	A	A
		105	相談員の資質向上のための講座等の開催	人権・男女共同参画推進課	71	5	5	A	A
		106	DV被害者支援のための情報連携	人権・男女共同参画推進課	72	5	5	A	A
		107	庁内の連携強化	人権・男女共同参画推進課	72	5	5	A	A
		108	関係機関との連携強化	人権・男女共同参画推進課	73	5	5	A	A
		109	県主催のDV被害者支援研修の受講	こども家庭センター	73	5	5	A	A
		110	DV防止対策と児童虐待防止対策との連携強化	こども家庭センター	74	5	5	A	A

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

1	事業名	男女共同参画推進のための講座等の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。			男女共同参画に関する講座や講演会等を年1回程度開催する。	
事業の実施内容				
2/28「宇多丸とキホン学ぼう！ジェンダーとカルチャーの希望と野望」 映画などのカルチャーにおけるジェンダーの課題を参加者からのメールやマイクでの発言も交えて、率直に自由に語り合うイベントを開催した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 72%			【実績】 94%	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集人数:400人 会場:越谷サンシティ 小ホール 参加者:289人(女性145人、男性135人、その他9人) ※内アーカイブ視聴:女性59人、男性46人、その他9人			アンケートの満足・ほぼ満足の合計。アンケート回収率は43%、評価は総じて高く「やや不満・不満」との回答がゼロだったことも特筆すべき点である。満足度理由の記述欄には著名人に会えたという事ではなく、話されたテーマや情報の深さに感じ入るものが多かった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			参加率が72%と目標まであと一歩及ばなかったが、アンケート回答者の80%が初めて当施設を利用したとの結果や満足度の高さなどを勘案すると、効果的な事業を展開できたと考えられる。また、他事業では女性の参加が多いが、男性が半数近くを占めた事にも注目したい。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
タイトルの「ジェンダーとカルチャー」が高尚なイメージで受け取られ、自分事としてとらえてもらえなかったのではないかと。また、何をするのか不明で参加に至らなかったのではないかと考えられる。より高い参加率が達成できるようにしたい。			タイトル等で「ジェンダー」等の抽象語を避け、参加者の悩み解決や関心のある話題を聞けるなどメリットがわかるように工夫する。チラシやWEB等で企画内容を可視化し、「自分に関係がある」と感じてもらうことで、心理的ハードルを下げ、参加率向上を図る。	

2	事業名	男女共同参画情報誌の発行	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民に、男女共同参画に関する情報をわかりやすく発信することで、意識啓発、理解促進を図る。			年2回定期的に男女共同参画情報誌を発行する。毎回テーマを定めた特集を掲載する。	
事業の実施内容				
情報誌「みてみてほっと越谷」を発行・配布。①第57号(7/1発行)「見た目って大事?」では学校に通う若い世代へ行ったアンケートの回答370人分をもとにルッキズムの影響や対策を特集、市内全小学校の4～6年生などに配布した。②第58号(2/1発行)「あなたと部活」では中学・高校での部活経験から自分の身体との向き合い方を特集、市内全中学校などに配布した。(発行部数:計26,000部)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 発行部数			【成果指標】	
【目標】 26,000部			【目標】 —	
【実績】 26,000部			【実績】 —	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
年2回発行。表紙をリニューアルしてページをめくってみたいくなるよう写真を活用。誌面自体もアンケートや座談会を行うことで57号／小学校高学年、58号／中学生という各号の主たる対象に伝わるような工夫を行った。			2号とも対象を大まかに決めてから、テーマを設定した。所管課はもちろん教育委員会にも内容を確認してもらうなどを経て、第57号を市内全小学校の4～6年生などに配布、第58号市内全中学校などに配布した。対象に合わせた情報誌が作成・配布できたと考えられる。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			年2回発行。各号とも作成におけるテーマ検討等、確認作業を行い、発行に至っている。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

3	事業名	男女共同参画情報を選択・判断する力を育成する事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
インターネット、スマートフォンなど多様化するメディアから発信されるジェンダー(社会的・文化的に作られた性差)に関する情報をうのみにせず、主体的に読み解き、活用する能力を高める。			メディアから発信される情報を選び取る力、見極める力を養うための講座の開催やパネル展示等を行う。	
事業の実施内容				
5/11「ジェンダー目線で広告を観察する～広告から読み解く『らしさ』の呪縛～」 日々目にするたくさんの広告やメディアのモヤッとする違和感を、「広告観察」を通して言語化するための講座を実施した。パネル展示「『男らしさ』の広告観察」を同時開催した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 ー	
募集人数:20人 参加者:74人(女性56人、男性11人、その他7人) ※内アーカイブ視聴:女性41人、男性7人、その他7人			普段目にする広告をテーマとし、また受講者が気になった街の広告も題材とすることで、より講座への理解が深まった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			講師に依頼しパネル展示を同時開催することで、SNSでの話題作りと事前告知を行うことができた。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

4	事業名	男女共同参画推進のためのパネル展示等の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。			国の男女共同参画週間等に合わせて、パネル展示等を行う。	
事業の実施内容				
①4/8～4/20「ジェンダーギャップ指数2024」②4/22～5/18『男らしさ』の広告観察③6/20～7/1「第24回七夕フェスタ」④7/29～8/10「キミも持っているよ！こどものけんり」(協力:埼玉県ユニセフ協会)⑤8/6～8/31平和記念事業「平和を願って千羽鶴を折ろう！！」⑥9/12～9/24「パープルリボンタペストリー」⑦2/28『ほっと越谷』って？』⑧3/5～3/12『ジェンダーギャップ指数』から日本を見てみよう」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 7回			【目標】 ー	
【実績】 8回			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
			市庁舎エントランスホールにて、人権・男女共同参画推進課と協働で展示を行うことで、より認知度を高めることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			「キミも持っているよ！こどものけんり」では、埼玉県ユニセフ協会よりネパールのこどもたちが使っている水がめや地雷レプリカを借りて「触れる展示」を行った。また他の展示では、文字よりも絵や図を多くして、「見たくなるパネル」を展示するよう心掛けた。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

5	事業名	男女共同参画推進のための出前講座等の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。			地区センター等において、男女共同参画に関する講座、パネル展示等を実施する。	
事業の実施内容				
①5/2「越谷市における男女共同参画の取組」②7/5「おうち性教育～いつから？誰が？どんな風に～」③7/6「大人に知っておいて欲しいデートDVって？」④9/18「男女共同参画セミナー」⑤12/14「親子で楽しむ～絵本と過ごすクリスマス」⑥12/14「カラフルねんどで作ろう!!クリスマスドーム」⑦3/18「人権教室」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 6回			【目標】 ー	
【実績】 7回			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
参加者:652人①獨協医科大学付属看護学校三郷校(72人)②大袋地区センター・公民館(32人)③荻島地区青少年指導員協議会(66人)④大相模地区センター・公民館(25人)⑤⑥北越谷地区センター・公民館(20人)(12人)⑦越谷人権擁護委員協議会越谷支部(425人)			積極的に出向いて講座を行うことで、多くの人に気付きや学びの機会を提供し、市民の理解を深めることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			地区センターや地域の活動団体の事業に出向き、市民の理解を深めることができた。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

6	事業名	男女共同参画推進週間における事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市の男女共同参画推進週間に合わせて、市民団体と協働で男女共同参画の推進を図る。			男女共同参画支援センターの周年事業(七夕フェスタ)を、登録団体その他の市民団体と協働で実施する。	
事業の実施内容				
6/24～7/6「第24回七夕フェスタ」開催 6/28「オープニングイベント」(参加者:1,971人)6/24～7/6「登録団体による企画展示」6/29～7/6「登録団体による企画講座」(参加者:447人)7/5「夕焼けコンサート」(参加者:87人)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加団体数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 125団体			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 208団体			【実績】 ー	
実行委員会(第1回:41団体、第2回:37団体、第3回:41団体)運営準備会(第1回:3団体、第2回:3団体、第3回:3団体、第4回:3団体)企画講座22団体、企画展示23団体、出店・出演団体10団体、交流会22団体			登録団体が主体となり男女共同参画に関するパネルを展示したり講座を実施することで男女共同参画の推進を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		実行委員会方式で登録団体が事業運営に携わることにより「ほっと越谷」の実施事業に対する理解が深まった。登録団体同士が実行委員会会議や交流会を通して準備・運営をすることで協働による連帯感を高めることができた。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

7	事業名	市民との協働による事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民との協働による事業を企画実施することにより、男女共同参画に関する理解を深める。			公募した市民で構成する企画委員等との協働により、事業を実施する。	
事業の実施内容				
公募による市民企画委員との協働で計6回企画委員会議を行い「ほっと越谷」TikTokアカウントの動画の企画・制作を計10本実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 2回			【目標】 ー	
【実績】 10回			【達成度】 4(概ね達成できた)	
R7企画・制作動画10本。以下は累積値。 フォロワー数:26、いいね数:100、総再生数:11,539回 @hot_koshigaya			企画委員からは「ワーク・ライフ・バランスという言葉を知ったが、もっと広がるべきだと感じた」といった意見があり、事業を通じて認知および理解の深化につながった様子がうかがえる。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		少人数での実施にあたり、参加者の都合に応じた柔軟な日程調整を行うとともに、撮影・編集・出演など役割を固定せず、得意分野に応じて関わられるよう工夫した。企画段階から主体的な参画を促した。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
編集作業ができる参加者に制作が偏る傾向が見られ、役割分担に偏りが生じた。全員が制作工程に関われるよう、スキル面の支援や進め方の工夫が課題である。			撮影や編集の基礎を学べる講座を取り入れ、参加者全員が制作工程に関われるよう支援する。また、役割分担や進行方法を工夫し、主体的な参画を促進する。	

8	事業名	支援センター登録団体等との協働による事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民との協働による男女共同参画の推進を図る。			男女共同参画支援センターの登録団体および他の市民団体との協働により、男女共同参画に関する講座の企画、運営を行う。	
事業の実施内容				
①7/3ほっかれ夏のこどもウィーク2025②9/7「自分で自分を守れるようになろう！親子で実践！子どもの心と体を守る安全教室」③1/21「東日本大震災被災者から学ぶ楽しく防災準備」④2/8「ジェネレーション・ギャップを乗り越える育児一助産師と考える、共に育み支え合う地域へ」⑤2/16「『ほっと越谷』ブックサロン～本がっつなぐ楽しい出会い～」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 協働で開催する講座数			【成果指標】 満足度	
【目標】 4回			【目標】 80%	
【実績】 14回			【達成度】 5(十分に達成できた)	
①10回(参加者:428人)②1回(参加者:40人)③1回(参加者:25人)④1回(参加者:3人)⑤1回(参加者:12人)			アンケートの満足・ほぼ満足の合計 満足度だけではなく自分でできることを考える機会を提供できた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

9	事業名	男女共同参画に関する図書の貸出し	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。			男女共同参画に関する図書の貸出しを実施する。	
事業の実施内容				
2025年度購入本70冊、ブックフェア開催回数4回、黙読会「20時までのしずかな読書クラブ」開催5回。 男女共同参画に関する図書・行政資料などを収集し、閲覧・貸出を行った。ブックフェアや黙読会の開催により、所蔵図書の紹介・利用促進を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用者数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 510人			【目標】 ー	
【実績】 289人			【実績】 ー	
【達成度】 2(達成は不十分)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
・貸出利用者289人(女性220人、男性69人、その他0人) ・貸出冊数408冊 ・黙読会「20時までのしずかな読書クラブ」参加者:合計5人			本を新たに70冊購入。講座に合わせた内容の本をブックフェアで紹介、黙読会においても新着本をピックアップして紹介し、手に取ってもらえるように工夫した。	
事業の評価				
D(課題が多く見直しが必要)			新たな取り組みなど工夫をしたが、紙の書籍離れにより貸出数を増やすことができなかった。	
<前年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
ペーパーレス化、紙の書籍離れが進む中で、「ジェンダーに関する本」に興味を持ってもらえるよう工夫が必要である。			ブックフェア、黙読会「20時までのしずかな読書クラブ」は継続をしつつ、新たな層の取り込みを目標とし、広報に工夫をして、より多くの市民へ情報を届ける。	

10	事業名	ジェンダーの視点を踏まえた刊行物等作成のための啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市の各課所に、性別による固定的イメージが含まれる刊行物等を作成することがないよう意識啓発を図る。			ジェンダーの視点を踏まえた刊行物等作成のガイドラインを作成するとともに、ガイドラインに沿って刊行物等が作成されているかを定期的に確認し、各課所に通知する。	
事業の実施内容				
リーフレットやチラシ、広報こしがや等、市が発行した刊行物を毎月5種類チェックし、チェック項目に該当する刊行物があった場合は、担当課所に今後の配慮をお願いしている。また、チェック結果を3カ月に1回掲示板で報告することで、全庁的に作成時の注意喚起を図った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 チェックした刊行物等の数			【成果指標】	
【目標】 60種類			【目標】 ー	
【実績】 60種類			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
毎月5種類×12カ月			リーフレットやチラシの作成の際に、いくつかの課からアドバイスを求められるなど、ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成に対する意識が高めることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
市が発行した刊行物について過去2年間での指摘事項はなかったが、引き続きジェンダーの視点を踏まえた刊行物等が作成されるよう啓発する必要がある。			「越谷市男女共同参画の視点における表現ガイドライン」(R8. 4月作成)を庁内や庁外へ周知する。	

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

11	事業名	市民への男女共同参画苦情処理委員の周知	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男女共同参画の推進に関する市の施策や、男女共同参画の推進を妨げる事案に対して、市民が必要なときにいつでも苦情の申し出ができるように、苦情処理委員の周知を図る。			広報紙やホームページに男女共同参画苦情処理委員の情報を掲載するほか、随時チラシ等を用いて苦情処理委員の周知を行う。	
事業の実施内容				
年間を通じてPRリーフレットを市の施設に設置するほか、ホームページでも制度を紹介している。また、ほっと越谷の情報誌「みてみてほっと越谷」に制度を紹介する記事を掲載するほか、二十歳のつどいの参加者に制度を紹介するチラシを配付した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 広報紙やホームページ等でPRする回数			【成果指標】	
【目標】 3回			【目標】 ー	
【実績】 3回			【実績】 ー	
①越谷市ホームページ②「みてみてほっと越谷」58号(2月)③二十歳のつどい参加者にチラシを配付(2,690部)			さまざまな媒体や機会を利用し、男女共同参画苦情処理制度について広く周知を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
今後も積極的に制度の周知を図っていく必要がある。			今後も積極的に周知を行う。	

12	事業名	職員に対する男女共同参画の啓発	所管課所	人事課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、男女共同参画に関する研修を実施することにより市職員の理解を深め、意識啓発を図る。			男女共同参画に関する研修を実施する。	
事業の実施内容				
新採用職員及び監督職員(主幹級)を対象に、男女共同参画に関する研修を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 男女共同参画に関する研修の受講者数			【成果指標】 理解度	
【目標】 ー			【目標】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 162人			【実績】 89%	
①新採用職員研修(4/1付採用):男性68人、女性52人 ②監督職員(主幹級)研修:男性22人、女性20人			人権・男女共同参画推進課職員を講師に「男女共同参画の意義や取り巻く環境」について講義を実施。研修後の受講者アンケートでは、「理解できた」、「概ね理解できた」や「今後の業務の参考になる」といった回答が多数を占めた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		研修資料のブラッシュアップを行うなど、研修内容の充実に努めた。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	【達成度】
施策の方針	1 男女共同参画社会形成のための意識啓発	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 性の多様性に関する理解の促進と支援	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一步）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

13	事業名	性の多様性の理解促進に関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民に、性の多様性の理解を促すとともに、互いに尊重し合う意識の啓発を図る。			性的少数者への理解を深める講座を開催する。	
事業の実施内容				
6/18『アイドル・コード』異性愛主義の視点から考える」 身近で影響力の大きいアイドルは異性愛が前提でSOGIが顧みられないが、アイドル表象を切り口に、根底にある異性愛主義の視点を見逃さず、性の多様性を考えていく講座を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 理解度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 100%			【実績】 50%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 3(達成まで今一步)	
募集人数:20人 参加者:31人(女性19人、男性8人、その他4人) ※内アーカイブ視聴:女性16人、男性5人、その他4人			アンケートの理解できた・ほぼ理解できたの合計 講師の希望により資料は投影のみで配布しなかったが、情報量が多く理解が追いつかないという意見があった。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
テーマは身近であったが、配布資料は無く投影資料が難解との指摘があった。本講座以外でも投影資料が無い場合に同様の意見が寄せられる事がある。			講師には多様な参加者がいる事を説明して理解いただき、最低限の配布資料を用意する。	

14	事業名	性的少数者への理解促進のための職員研修の実施	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市職員が性的少数者への正しい理解と認識を深め、窓口等において、配慮した対応ができるよう、意識啓発を図る。			性的少数者への理解を深める研修を実施する。	
事業の実施内容				
性的少数者を講師に招き、管理職向けの内容で、性的少数者への理解促進のための研修を実施した。 講師:レインボーさいたまの会				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 受講者数			【成果指標】 理解度	
【目標】 45人			【目標】 100%	
【実績】 26人			【実績】 96.2%	
【達成度】 3(達成まで今一步)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
一般職員を対象とし目標設定したが、令和5年度からは管理職(副課長職)を対象として行っており、令和7年度の対象者が35人だったため、達成度は「3」とした。			研修後の受講者アンケートでは、「日常生活で困難を感じている方もいることを、改めて認識した。」「必要であると思う。今後も続けてほしい。」等の回答があった。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)			金曜日の10時からの研修だったが、当日の欠席者が多かった。	
<前年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
職員対象の研修のため、業務中に参加しやすい日時を設定する必要がある。			事前の日程調整や出席依頼について、余裕をもって行う。	

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (2) 性の多様性に関する理解の促進と支援

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

15	事業名	性的少数者への理解促進のための啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内事業者への性的少数者への正しい理解を深めるため、意識啓発、理解促進を図る。			性的少数者への理解を深めるリーフレットを市内事業者へ配付する。	
事業の実施内容				
リーフレットを作成し、越谷商工会議所に登録している市内企業に配付した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 リーフレットの配付回数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
越谷商工会議所に登録している市内企業(約5,200社)			啓発リーフレットを配付することで、性的少数者への理解を促すことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (3) 国際理解の推進

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

16	事業名	国際的な動向についての情報提供	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男女共同参画の取り組みは国際的な動向と密接に連動しているため、国際的な動向についての情報を市民に提供し、男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。			男女共同参画に関する国際的な動向について、情報提供を行う。	
事業の実施内容				
男女共同参画支援センター「ほっと越谷」と連携し、男女格差を示す国際的指数である「ジェンダーギャップ指数」のほか、ジェンダーギャップを解消するために必要なことなどのパネルを作成し、市役所ロビーでパネル展(3/4～3/12)を開催した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施回数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
			国際的な記念日である「国際女性デー」について啓発および参加型パネル展示とすることで、世界とのギャップや女性活躍への関心を高めてもらうことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	【達成度】
施策の方針	2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(1) 学校等における男女共同参画視点を踏まえた教育の推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

17	事業名	家庭における固定的な役割分担意識の解消に関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
家庭において保護者に子どもが小さいうちから男女共同参画の視点に基づいた関わりを持つことの必要性を認識してもらう。			保護者に向けて、性別による固定的役割分担意識にとらわれない子育てなど、ジェンダーの視点を踏まえた家庭教育に関する講座を開催する。	
事業の実施内容				
11/29「家族のカタチについて考える時間～ピザ作りと絵本＆トーク～」 前半は親子でピザを手作りし周りの親子とも交流した。後半は親と子で分かれて、それぞれのグループがジェンダーバイアスのテーマでトークタイムを過ごし、気づきを得た上で絵本「みっちときりー」*の読み聞かせを行った。*三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」が固定的役割分担意識、ジェンダーバイアスの解消に向けて作成した絵本				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 88%			【実績】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集人数:8組 参加者:7組(女性12人、男性3人)			アンケートの満足・ほぼ満足の合計 「堅苦しくなく、自然と子ども達の感覚が豊かになっていくような講座で、親子で参加してとてもよかった」などの感想があり、固定的役割分担意識への認識を親子それぞれ深めてもらうことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			親のみの講座よりも子どもと一緒に参加できる講座にすることで参加率UPを目指した。	
<前年度評価> A			アイスブレイクとして調理を盛り込んだ結果、親と子で分かれてのワークでも積極的に発言する参加者が多く、子ども達も親と離れていても集中していた。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

18	事業名	保護者に向けた啓発資料の配付	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
家庭で男女共同参画の視点に基づいた教育が行われるよう、保護者に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。			保育所(4歳クラス)、小学校3年生、中学校1年生の子を持つ保護者全員に男女共同参画意識の啓発資料を配付する。	
事業の実施内容				
市内の幼稚園及び公立・私立の保育所の4歳児クラス、小学3年生、中学1年生の保護者全員に家庭での男女共同参画に関するリーフレットを作成し、配付するとともに、ホームページに掲載した。市立保育所については、保護者が登録する保育支援アプリ「コドモン」にて配信した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 配付部数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 8,478部			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
4歳児クラス2,683部、小学3年生2,940部、中学1年生2,855部			対象となる全ての保護者に配付することができ、保護者の男女共同参画の意識啓発を促すことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	【達成度】
施策の方針	2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進	5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
取り組みの方向	(1) 学校等における男女共同参画視点を踏まえた教育の推進	4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
		3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
		2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

19	事業名	教職員に向けた啓発資料の配付	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員の男女共同参画に関する理解をさらに深める。			市立の小中学校教職員全員に、男女共同参画意識の啓発資料を配付する。	
事業の実施内容				
男女共同参画に関する理解をさらに深めるため、市立小中学校すべての教職員に男女共同参画リーフレットを配付するとともにホームページに掲載した。今回は、生理(月経)について取り上げた。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 配付部数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 1,765部			【達成度】 4(概ね達成できた)	
市立小中学校の全教職員に配布した。			対象となる教職員全員に配付でき、教職員への男女共同参画に関する意識啓発を促すことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

20	事業名	若年層に向けた男女共同参画推進条例リーフレットの配付	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
できるだけ早い時期から男女共同参画の考え方を理解するよう、若年層に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。			小学6年生全員に市の男女共同参画推進の基本的な考え方である「越谷市男女共同参画推進条例」のリーフレットを配付する。	
事業の実施内容				
市立小学校6年生全員に「越谷市男女共同参画推進条例」のこどもリーフレットを配付するとともに、ホームページに掲載した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 配付部数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 2,933部			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
小学6年生及びその学級担任に配付した。			市立小学校6年生全員に「越谷市男女共同参画条例」のこどもリーフレットを配付することで、男女共同参画の早期形成を促すことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	【達成度】
施策の方針	2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(1) 学校等における男女共同参画視点を踏まえた教育の推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

21	事業名	教職員への男女共同参画に関する研修会の実施	所管課所	指導課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。			教職員に向けて男女共同参画に関する研修会を行う。	
事業の実施内容				
『「多文化共生」から「人権保障」へジェンダーや国籍のレンズを入れて社会を見る』というテーマで上智大学総合グローバル学部教授の田中雅子様にご講演をいただいた。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加人数			【成果指標】 理解度	
【目標】 44人			【目標】 100%	
【実績】 44人			【実績】 100%	
市内小中学校全ての学校から教員が研修会に参加した。			参加者アンケートから男女共同参画についての意識が高まり、理解の促進を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			越谷市内小中学校44校すべての学校が研修会に参加し、内容についても参加教職員に十分啓発することができた。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

22	事業名	キャリア教育の推進	所管課所	指導課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
児童生徒に、性別による固定的役割分担にとらわれないキャリア形成ができるよう、男女共同参画に関する意識啓発を図る。			キャリア教育を実践するため、中学校ではさまざまな職業についての調査・体験、小学校では地域の方との交流などを行う。	
事業の実施内容				
小・中学校の総合的な学習の時間及び特別活動の授業等において、「進路指導・キャリア教育」の推進を図った。市内中学校においては、生徒の興味・関心や地域・学校の実態に応じて、職場体験や地域の職業人による講演・授業等を創意工夫して実施する「越谷市中学生社会体験チャレンジ事業」を推進した。また、児童・生徒が自分らしい生き方を実現するため、各中学校区において「キャリア・パスポート」を活用した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実践校数			【成果指標】 実践校数	
【目標】 44校			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 44校			【実績】 ー	
各校において、児童・生徒の興味・関心や、地域、学校の実態に応じて、職場体験や職業人による後援等を実施し、キャリア教育を推進した。			児童・生徒の興味・関心や地域・学校の実態に応じて、地域や家庭との連携を図りながら、授業等で「キャリア教育」を推進した。その結果、児童・生徒の自己理解を深め、主体的な進路選択や自己実現につなげることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			職業についての調査や、地域の特性を生かした体験活動や職場体験、地域の方との交流や職業人による講演・授業等を通して、児童・生徒が自分らしい生き方について学ぶことができた。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
児童・生徒が将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するため、小学校からその後の進路にかけて、活動を記録し蓄積することができる「キャリア・パスポート」をより充実させる必要がある。			各中学校区で、地域の特性を生かした「キャリア・パスポート」を活用できるよう、各中学校区合同研修会や越谷市進路指導主事連絡協議会において、情報交換等を行っていく。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	3 女性の活躍の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(1) 女性の人材育成と審議会等への登用の推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

23	事業名	審議会等における女性の登用推進のための講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
主として女性に、審議会等への参画についての意識を高め、審議会等における女性の登用を推進する。			審議会等への女性の参画を支援するための講座を、人権・男女共同参画推進課と連携して開催する。	
事業の実施内容				
地域をデザインする「はじめの一步」を踏み出そう ①9/6『こうなったらいいのに』を届けてみよう～パブリックコメントで描く、越谷の未来図～」 ②11/17「審議会の傍聴にチャレンジ！～『こうなったらいいのに』はどうなった？～」 審議会へ興味を持つための第一歩として、パブリックコメントへの応募を実践する講座を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 83%			【実績】 96%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集人数:①20人②5人 参加者:①21人(女性15人、男性6人)②3人 ※内アーカイブ視聴:①女性6人、男性2人			アンケートの満足・ほぼ満足の合計 「今募集しているパブリックコメントを見るきっかけになりました」などの感想があり、市政へ関心を寄せるための第一歩とすることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			「第4次越谷市男女共同参画計画(改訂版原案)」に対するパブリックコメントの募集に合わせて講座を行い、受講者によるパブリックコメントの応募と傍聴までの一連の流れを講座とした。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

24	事業名	審議会等への女性の登用推進	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市の審議会等における女性の登用を推進する。			行政推進会議及び幹事会で全庁的に働きかけを行う。 審議会委員の改選時期に合わせて、女性の登用について各課に対して個別に働きかけを行う。	
事業の実施内容				
全庁的な男女共同参画推進体制である行政推進会議(部長級で構成)及び幹事会(課長級で構成)において、審議会等への女性の登用について働きかけを行ったほか、審議会等の改選時期に合わせて所管課所の担当者と事前協議を行い、女性の登用促進への配慮を依頼した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 働きかけの回数			【成果指標】 女性の登用率	
【目標】 ー			【目標】 35%	
【実績】 26回			【実績】 35.4%	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
改選を予定している審議会等を対象とした事前協議の回数				
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
女性の専門家が少ない分野がある。また、あて職ではないが、経験、知識から選出が固定化されてしまっているなど、女性が出選される幅が狭まってしまっている。			選出を依頼する団体に向けたチラシを作成し選出依頼時に配付することで、女性登用の推進の重要性を周知していく。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	3 女性の活躍の推進	5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
取り組みの方向	(1) 女性の人材育成と審議会等への登用の推進	4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
		3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
		2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

25	事業名	男女共同参画チャレンジリスト登録者への情報提供	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民(チャレンジリスト登録者)に、審議会委員の公募に関する情報提供を行い、審議会等における女性の登用を推進する。			審議会への女性の参画を支援するための講座受講者等のうち、希望者にチャレンジリストに登録してもらい、公募委員を募集する各審議会の情報を提供する。	
事業の実施内容				
審議会等の公募委員へ挑戦することを目的としたチャレンジリスト登録者に対して、毎年発行する「審議会等ガイドブック」を送付し、公募情報の提供を行った。また、登録者への公募委員募集情報の個別送付を希望する審議会等の所管課に対して、同意をもらった登録者の情報を提供した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 登録者数			【成果指標】 登録者のうち年度内に公募委員になった人数	
【目標】 86人			【目標】 13人	
【実績】 84人			【達成度】 4(概ね達成できた)	
内訳:女性60人、男性24人(令和8年4月1日時点) 新規登録:3人			登録者のうち、年度内に公募委員を務めた人数(令和8年4月1日)	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
登録者の半数以上が70歳以上であり、公募委員へ応募自体が少なくなっていると思われる。			庁内各課へ公募委員募集の際は当制度を活用するよう周知を引続き行うとともに、市民に対しても幅広い年代の方に登録いただけるよう、制度について積極的に周知を行う。	

26	事業名	女性職員の人材育成・登用促進	所管課所	人事課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
政策決定過程における男女共同参画を推進するため、行政内部においても、女性人材の能力開発、登用を促進する。			女性職員を対象としたエンパワーメント研修等を実施する。	
事業の実施内容				
女性の能力開発・発揮を目的とした「女性職員エンパワーメント研修(女性職員の意識向上、スキルアップ等)」を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 女性の能力開発のための研修の受講者数			【成果指標】 職員のうち管理職に占める女性職員の割合	
【目標】 25人			【目標】 25%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 26人			【実績】 23.3%	
例年、女性の能力開発・発揮を目的とした研修の受講者の目標値を設け、女性人材の能力開発に努めている。			研修等による継続的なアプローチにより、女性職員の男女共同参画に対する意識向上が図られ、管理職に占める女性職員の割合が増加した。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		エンパワーメント研修では、女性管理職と一般職員との間でディスカッションの場を設けるなど、女性職員の意識向上を図った。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (1) 女性の人材育成と審議会等への登用の推進

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

27	事業名	女性消防吏員の活躍支援事業	所管課所	消防総務課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の視点に立って市民へ消防の魅力を広く発信するとともに、男性・女性問わず活躍できる職場づくりを推進し、女性消防吏員のさらなる活躍を通じ、住民サービスの向上や組織の活性化を図る。			女性消防吏員の執務環境の改善や女性が消防職務を継続していくため、柔軟な職域拡大の推進、研修機会の拡大などに取り組み、支援する。	
事業の実施内容				
女性消防吏員の執務環境の改善や女性が消防職務を継続していくため、柔軟な職域拡大の推進、研修機会の拡大などの取り組みを行い支援した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 活動実施回数			【成果指標】 消防吏員に占める女性の割合	
【目標】 10回			【目標】 5%	
【実績】 10回			【実績】 6.3%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【越谷市】市町村合同説明会2人、【消防大学校】女性活躍推進コース1人、【埼玉県消防学校】初任教育2人、救急科1人、【その他】警察・自衛隊公務員合同採用説明会(2回)2人、職員採用ポスター4人、ホームページ(女性活躍ページ)の更新、無人航空機基礎研修1人、入職希望者への就職説明会(随時)			女性消防吏員の活躍についてホームページを更新して広報を行ったほか、女性消防吏員の採用説明会への参加などを積極的に行った。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			今後も研修や講習会等へ積極的に参加するなど活躍の場を広げるとともに、採用説明会等で女性消防吏員が直接広報を実施することにより女性消防吏員の更なる確保に努めていく。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
女性消防吏員が増加し職域を拡大させるなかで、採用広報や教育研修の場に限りががあるため、活動実施回数の目標値を見直す必要がある。			女性消防吏員の活躍の場を新たに設けるとともに目標値を見直し、女性消防吏員の割合を増加させ、職域拡大、住民サービスの向上や組織の活性化を図っていく。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (2) 女性の就業・起業のための支援

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

28	事業名	女性のための就職支援セミナー	所管課所	経済振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の就職へ向けた能力向上等を支援し、さらなる活躍の推進と働き手の確保を図る。			就職活動に必要な適性診断や採用面接での自己PRをテーマとしたセミナー(講座)を開催する。	
事業の実施内容				
【女性デジタル人材育成セミナー(市主催)】 ①7/16(参加者数(以下省略)11人)、②9/19(16人)、③10/22(16人)、④11/5(15人)、⑤1/9(27人)、⑥2/18(18人) ※定員20人／回				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 70%			【目標】 90%	
【実績】 86%			【実績】 88.3%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> D				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

29	事業名	女性の就業支援事業	所管課所	経済振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の就職支援の一環として専門のキャリアコンサルタントを配置、就職に向けたきめ細かな総合的カウンセリングを実施し、早期就職の促進を図る。			委託事業としてキャリアコンサルタントを配置し、個別にカウンセリングを実施する。	
事業の実施内容				
専用のキャリアコンサルタントによる早期就職に向けた総合的なカウンセリングを実施した。(月曜～金曜、午前9時～午後5時、受付は午後4時30分まで)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 相談件数(延べ)			【成果指標】 相談終了者の就職率	
【目標】 90件			【目標】 40%	
【実績】 54件			【実績】 22.7%	
【達成度】 3(達成まで今一歩)			【達成度】 2(達成は不十分)	
労働市場における雇用のマッチングを主眼に、専門のキャリアコンサルタントを配置し、就職に向けた総合的カウンセリングを行う事業を継続して実施しているが、人手不足による求人の増加や、SNS等による情報収集手段の多様化により相談者が減少している。			就職及び就職に向けた就学をした割合としている。 就職に至らない場合、1～2回ほど相談をしてから3カ月間利用がなくて相談が終了するケースが多い。	
事業の評価				
D(課題が多く見直しが必要)			ハローワークや庁舎内へのチラシ配布・掲示、市のSNSへの掲載、就職支援セミナー受講者や二十歳のつどい参加者へのチラシの配布など、本事業の周知に力を入れている。また、就職相談後3か月経	
<前年度評価> D			過した方への再アプローチなどを実施しており、相談者数と就職率は前年度(16%)より増加した。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
令和7年度と同じように周知に力を入れつつ、相談者が希望の仕事に就けるよう相談者の支援を継続する必要がある。			就職支援セミナー参加者に対して、チラシの配布だけでなく実際に本事業を利用して就職した方の話をする事で、本事業を利用してもらえるように努める。また、就職相談後3か月を経過した方への再アプローチを継続・徹底することで、就職率の向上を図る。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (2) 女性の就業・起業のための支援

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

30	事業名	女性創業者の育成支援	所管課所	経済振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の創業を促進し、新たな産業や雇用の創出及び市内産業の振興を図る。			女性の創業希望者や創業間もない方を対象に創業相談及び創業支援セミナーを実施する。また、創業に係る費用の補助を行う。	
事業の実施内容				
①ビジネスサポートセンターこしがや(相談窓口)の専門家による創業相談(女性相談82人)、②9/1、11/10、2/16女性創業サロン(29人)、③9/29、10/6、17、2/7女性創業支援セミナー(20人)④創業者支援補助金(女性補助対象者8人)⑤その他創業に係るセミナー(女性参加者18人)⑥トライアル出店(お試し出店)の場の提供				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 女性の創業相談件数			【成果指標】 創業を支援した女性の人数	
【目標】 40件			【目標】 10人	
【実績】 82件			【実績】 19人	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
セミナー受講後・補助金活用後のフォローアップが不足しているため、支援途中で創業を断念してしまうケースもみられる。フォローアップ体制については、引き続き検討していく必要がある。			窓口相談、セミナー、補助金申請およびトライアル出店のすべての段階において、創業希望者の実態把握に努めていきたい。各事業での関連性を持ちながら、各事業関係期間との連携を強化し、ワンストップの支援を行う。	

31	事業名	女性の起業支援に関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性が主体的に能力を発揮できる力(エンパワメント)をつけるための学習機会を提供し、起業を視野に入れた女性の能力向上を図る。			女性が企業で働くだけでなく、起業する、NPOを立ち上げるなど、多様な働き方の選択ができるようなワークショップを中心とした講座を開催する。	
事業の実施内容				
4回連続講座「令和7年度私の好きなことで仕事を創る」①7/9「起業について考える、私はなにができる?」、②7/23「私が本当にやりたいことを見つけよう」、③8/13「私らしく働くためのWEBスキル」、④9/10「私の好きなことで仕事を創る」女性の働き方の選択肢として起業する可能性を考え、事業化に向けて知識を提供した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 93%			【実績】 91.5%	
募集人数:80人(20人×4回) 参加者:①18人(内WEB8人)、②15人(内WEB5人)、③31人(内WEB31人)、④10人(内WEB1人)※会場とオンライン同時開催。第3回のみ完全オンライン。女性対象講座。			例年は第3回目は地域で起業・活動する方たちとの交流プログラムであったが、本年度は新規にWEBやSNSのデザインを学ぶ講座を行い、満足度も高かった。交流会は指定管理者提案の自主事業として行った。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			参加者の都合で対面・オンラインのどちらでも自由に参加できるように設定した。講座終了後に指定	
<前年度評価> A			管理者自主事業としてこしがや産業フェスタに出展することも参加者の意欲向上につながった。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (2) 女性の就業・起業のための支援

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

32	事業名	家族経営協定の推進	所管課所	農業振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内で農業を経営する世帯における女性従事者の労働環境を維持する。			農業を経営する家族間の話し合いのもとで共同経営環境の取り決めをする「家族経営協定」の普及拡大のため、農家への戸別訪問による啓発パンフレットの配布や制度説明、農業団体へのPRなどを行う。	
事業の実施内容				
各農業団体の会議等において、家族経営協定の制度を説明し、PRを行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 農業団体へのPR活動			【成果指標】 協定の締結件数	
【目標】 1回			【目標】 32件	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 1回			【実績】 32件	
越谷市農業団体連合会の各部会、JA越谷市女性部等の会議においてPRを行った。				
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
家族経営協定の締結に向け、制度説明やPRを推進しているところであるが、積極的に取り組む農業者が少ない。			制度の概要に加え、労働環境の向上を目的とした家族経営協定の意義やメリットについて、農業者に対し積極的に周知、PRする。	

33	事業名	女性の農業従事者支援	所管課所	農業振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内の農業に携わる女性組織の活動を支援し、農業における女性の地位向上や経営参画推進を図る。			JA越谷市女性部が実施する、農業経営に関する講座及び先進事例の研究、地域交流活動など支援するための補助金を交付する。	
事業の実施内容				
JA越谷市女性部を通じて、地産地消フェスタにて地場農産物を利用した加工品販売、各支部における活動などを実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施地区の割合			【成果指標】	
【目標】 100%			【目標】 ー	
【実績】 100%			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
女性部の全体会議や各支部における活動を行った。			各種農業団体活動等への参加や、JA埼玉県女性協会の会議への参加から、農業経営や地域社会への参画などの知識を習得することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
女性農業起業家としての自立や安定化が十分図れていない。また、今後の各イベントの実施方法や参加方法などについて検討が必要である。			女性農業者間の交流・情報交換会の推進を図りつつ、女性農業者ならではの発想やネットワークを活かした活動を促進し、起業家としての自立や経営の安定化を図っていく。また、各イベントの実施や参加については、積極的な活動を検討する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (3) ハラスメント対策の充実

【達成度】
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

34	事業名	就労に関する法制度や職場におけるハラスメントに関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民に就労に関する法制度や職場におけるハラスメントについて普及・啓発を図る。			配偶者控除、育児・介護休業法、パートタイム・有期雇用労働法など、就労に関する法制度、職場におけるハラスメントについて講座を開催する。	
事業の実施内容				
10/2「これだけは知っておきたい！パートタイム・有期雇用労働法とハラスメント」(共催：埼玉労働局)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 理解度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 87%			【実績】 92%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集人数：15人 参加者：13人(女性12人、男性1人)			アンケートの理解できた・ほぼ理解できたの合計 「改定された法令など、分かりやすく説明していただいた。資料もわかりやすかった」との感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			労働局職員を交えたグループでの話し合いで疑問を解消できたことが理解向上につながった。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

35	事業名	ワーク・ライフ・バランスやハラスメント防止の普及・啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内の事業者へ、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)やハラスメント防止について普及・啓発を図る。			ワーク・ライフ・バランスに関係する取り組みを行っている市内の事業者にインタビューし、その効果などをまとめるとともに、ハラスメント防止を含めたリーフレットを市内事業者に配付する。	
事業の実施内容				
ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組んでいる市内業者(株式会社健峰会)へインタビューし、取組みの効果について掲載したリーフレットを作成し配付した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 リーフレットの配付回数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
越谷市商工会議所に依頼し、登録をしている市内企業にリーフレットを配付し、企業経営者に周知を図った。そのほか、経済振興課窓口及び「ほっと越谷」にも配架した。(配付部数:5,300部)			商工会議所を通して市内事業者にリーフレットを配付することで、職場におけるワーク・ライフ・バランスの意識を促すことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり
 施策の方針 3 女性の活躍の推進
 取り組みの方向 (3) ハラスメント対策の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

36	事業名	職員に対するハラスメント対策の充実	所管課所	安全衛生管理課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
ハラスメントのない、男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、職員に対する意識啓発を図る。			ハラスメントに関する研修等を実施する。	
事業の実施内容				
新採用研修、中級研修(入庁6年目)、監督職員(主幹級)においてハラスメント(メンタルヘルス含む)に関する研修を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 ハラスメントに関する研修受講者数			【成果指標】 理解度	
【目標】 ー			【目標】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 300人			【実績】 97.4%	
内訳:新採用(女性73人、男性113人)中級(女性46人、男性26人)主幹級(女性20人、22人)			研修を各階級別の職員に対し実施することにより、ハラスメントに対する理解や問題意識が深まっている。また、相談窓口の認知度も高まった。メンタルヘルスクーも併せて行っている。相互作用する内容なので、効果の期待はできると考える。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		アンケートの結果、理解度は、高水準を維持しているため、順調に取り組んでいると考えている。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
ハラスメント相談を受ける中で、職場での管理監督職員の早期対応が重要であると感じている。また話しやすい職場の雰囲気づくりも重要である。			ハラスメント防止、メンタルヘルスクーの観点から、職場のラインケアが重要と考えているため、管理監督者研修において、職場のラインケアに役立つ内容をさらに盛り込んでいきたい。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(1) 職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

37	事業名	事業者を対象とした男女共同参画に関する事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
事業者に男女共同参画意識の普及・啓発を図り、職場における男女共同参画を推進する。			事業者を対象として、ワーク・ライフ・バランスなどに関する講座、パネル展示等を実施する。	
事業の実施内容				
越谷市をホームタウンとして活動する、プロバスケットボールクラブ「越谷アルファーズ」にワーク・ライフ・バランス(WLB)について理解を深めてもらい、共に推進活動を行った。越谷アルファーズ公式マスコットキャラクター「アルファマン」とのコラボステッカー付チラシを作成、越谷アルファーズのホーム戦(12/24)で配布した。ステッカー記載のQRコードから、「ほっと越谷」HPのWLB特集ページ(TikTok企画委員によるWLB推進企業へのインタビュー動画など)へ繋げ、周知を図った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 ー	
越谷アルファーズホームゲームの来場者数:3,119人 「ほっと越谷」HPのWLB特集ページPV数:261			SNSでも「定時ダッシュ！！」への反響があり、越谷アルファーズ含め様々な方面へワーク・ライフ・バランスについて推進活動を行うことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			ワーク・ライフ・バランス(WLB)について、既に取り組んでいる事業者の例を伝えることで、具体的に「企業にとってもプラスになる結果が生まれていること」などを伝えることができた。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

38	事業名	男性職員の育児休業取得のための啓発	所管課所	人事課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
子育て中の男性職員が子育てに関する休暇等を積極的に取得できるよう、制度内容の周知・啓発を図る。			仕事と家庭の両立支援に関する研修の実施やハンドブックの配付等により、職員への周知を図る。	
事業の実施内容				
新採用職員、採用後6年目の職員及び新任副課長職員を対象に、男性の育児休業をはじめとした仕事と家庭の両立支援に関する研修を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 仕事と家庭の両立支援に関する研修の受講者数			【成果指標】 理解度	
【目標】 ー			【目標】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 181人			【実績】 94%	
①新採用職員研修(4/1付採用):男性68人、女性52人 ②採用後6年目研修(事務改善研修):男性22人、女性16人 ③新任副課長職研修:男性19人、女性4人			新採用職員に対して育児・介護両立支援ハンドブックを配付し、制度内容の周知を図った。その他の職員に対しては、仕事と家庭の両立支援に関する研修を実施し、意識啓発に努めた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		男性職員が抱く育児休業等への不安を少しでも解消できるよう育休通信による情報提供を実施した。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

39	事業名	男性の男女共同参画推進のための事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男性に家庭生活等への参画を促す意識を啓発する。			さまざまな世代に対応したテーマを設定して講座等を開催する。	
事業の実施内容				
4月より月1回「男性たちのしゃべり場☆ほっとーク!」を開催した。予約不要で気軽に参加できる設えとし、毎月違うテーマで男性同士が安心・安全に雑談できる場所を「みんな違うことを前提に」などのグラウンドルールも導入して運営した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集人数:無し 参加者:35人(男性34人、女性1人) ※2回のみ男性に限らず参加可とした。 ※R7は12回開催した。			「初参加で少人数でしたが、充実した時間を過ごせました。次回も都合が合えば参加したいです。」「居場所の提供に満足。」などの感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			定期的に開催しており、少人数ながらも男性たちの居場所づくりに寄与できていることがアンケートからも明らかになっている。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
1回につき10人程度を想定したが、最多でも5人の参加に止まっている。リピーターからは人数規模の拡大を望む声があるが、広報こしがや等を活用しても参加者数は低空飛行を続けている。男性が雑談に集まるのはそもそもハードルが高いという声もある。			事業の性質上、顔見知りや誘うものでもないため、参加者間の口コミは期待できない。引き続き広報こしがや等の地道な広報を続ける。	

40	事業名	育児・介護等と仕事の両立支援のための事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
仕事と育児・介護等の両立を支援する。			働きながら子育てや介護等を両立することに関する講座等を実施する。	
事業の実施内容				
3/21「休む力を身につける『休養学』～仕事をあきらめないための処方箋」 育児・介護と仕事の両立のために必要不可欠な、心身への正しいケア方法を学ぶ講座を開催した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集人数:20人 参加者:45人(女性38人、男性7人) ※内アーカイブ視聴:女性20人、男性2人			『休養』という言葉に対してのハードルを下げる講座と感じた」などの感想があり、育児・介護中の就労継続のためには正しく休むことが大切であると気が付く講座を開催できた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			支援や制度面での補足として、社会保険労務士による「育児・介護休業法ミニ講座」も行った。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

41	事業名	育児期の女性の就労継続を支援する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
育児期の女性が就業継続し、スキルアップにつながる支援をする。			妊娠・出産・育児期の女性が仕事を継続するために、具体的に役立つ知識やスキルを習得できる講座を開催する。	
事業の実施内容				
6/21「ワタシらしく働くために ママも ママになりたい人も 応援します！」 働く母親が育児・家庭・仕事のバランスについて考える機会を提供するとともに、受講者同士の交流を促した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 100%			【実績】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集人数:各10人 午前の部:15人※内アーカイブ視聴:12人 午後の部:5人			アンケートの満足・ほぼ満足の合計 「この場で答えが出なくても、今自分が何に悩んで何をよくばっていたのか、頭がクリアになった。今大事にしたいことを整理して自分主体の計画書を作ってみたい」「トークタイムもあり、楽しかった」などの感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			正職員とパートで対象を分けることにより、様々な働き方で就労継続していくことを支援した。トークタイムは例年好評で「もっと交流したい」という声もいただいている。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
「より交流できる場がもしくはもっと長くトークタイムを設けて欲しい」という声がある。			「交流したい」という声に当事業でなくても応えることができないか検討する。	

42	事業名	障がい者介護支援	所管課所	障害福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。			在宅の心身障害者の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。	
事業の実施内容				
在宅の障がい児(者)の地域生活を支援するため、必要に応じて一時預かりや派遣による介護、外出援助等のサービスを提供し、障がい者の福祉の向上及び介護者の負担軽減を図った。年間利用時間は150時間が上限。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用登録者数(障がい者)			【成果指標】 利用時間数(延べ)	
【目標】 504人			【目標】 ー	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 419人			【実績】 7,607時間	
			以前より外出支援や一時的な支援などのために利用していた人に関しては継続しての利用が見られるほか、18才に到達した障がい者が、以降も継続利用していることが、利用促進につながった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一步）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

43	事業名	障がい児介護支援	所管課所	こども福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。			在宅の心身障害児の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。	
事業の実施内容				
一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う「生活サポート事業」を実施し、サービス提供団体に補助金を交付した。また、サービスを受けた時間数に応じた自己負担金について、障がい児の保護者の所得に応じた階層区分により補助額を決定し、介護者の負担を軽減した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用登録者数(障がい児)			【成果指標】 利用時間数(延べ)	
【目標】 260人			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 277人			【実績】 10,949時間	
			サービス提供事業者への補助を行うことで、利用者の負担軽減を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

44	事業名	高齢者介護支援	所管課所	地域包括ケア課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。			見守りや部分的介助が必要な高齢者(介護保険認定対象外)の介護者が、休養や旅行等で一時的に介護を離れる間、高齢者が特別養護老人ホーム等で短期宿泊する際のサービス費を受け入れ施設に支給する。	
事業の実施内容				
市内に住所を有する65歳以上の介護保険認定対象外の高齢者で、見守りや部分的介護が必要な方が、一時的に介護者が病気や事故等で介護が困難になったとき、特別養護老人ホーム等で、空きベッドを利用して一時的に生活管理の支援を行う環境を整えた。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 申請件数			【成果指標】 利用日数(延べ)	
【目標】 10件			【目標】 ー	
【実績】 4件			【実績】 46日	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
サービスの利用については、利用者や介護者の状況等により、年度ごとの利用件数にはばらつきが生じる。必要時には利用調整等、速やかに対応できる体制を整えていたため、達成度は「4」とした。			介護者の状況等により利用日数は異なる。制度利用にあたっては、希望日に利用できるよう、特別養護老人ホーム等と調整を行い、手続きの支援を行った。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)			相談を受けた場合は速やかに対応を行える体制維持を行っている。	
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
事業を必要とする潜在的なケースを早期発見できるよう体制を強化する必要がある。			地域包括支援センターやその他関係機関との連携を図り、利用者の家族支援を促す。	

基本目標
 施策の方針
 取り組みの方向

Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり
 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【達成度】
 5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
 4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
 3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
 2（達成は不十分）：目標値の60%未満

45	事業名	父親サロンの開催	所管課所	こども政策課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
父親に、育児の参画を促進するための支援を行う。			未就学のこどもを持つ父親同士の交流の場として父親サロンを開催する。	
事業の実施内容				
未就学のこどもを持つ父親を対象に父親サロンを開催し、相談や情報提供を行ったほか、父親同士の交流を促進し、父親の育児参加を支援した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加人数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 300人			【目標】 ー	
【実績】 257人			【実績】 ー	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
			昨年度から参加者数は減少したものの、男性の子育てへの関りを促進することができた。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

46	事業名	送迎保育の実施	所管課所	保育支援課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
保育園の開所時間内に保育園へ児童を送迎できない保護者に代わり、保育ステーションにおいて送迎及びそれに伴う保育を行うことにより、仕事と育児の両立を支援する。			指定私立保育園への児童の送迎及びそれに伴う保育を行う。	
事業の実施内容				
保護者が仕事と子育ての両立を支援するため、利便性の高い駅前2か所(南越谷・北越谷)の保育ステーションで送迎保育を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 年間利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 年間利用児童数(延べ)	
【目標】 11,720人			【目標】 ー	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 2(達成は不十分)	
【実績】 11,600人			【実績】 257人	
			育児休業制度の取得促進など、社会情勢の変化により、定員を超える利用はなかった。	
事業の評価				
D(課題が多く見直しが必要)				
<前年度評価> D				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
年々利用者が減少しており、費用対効果が小さくなっている。			事業のあり方について検討をした結果、R7年度をもって事業を廃止することとした。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

47	事業名	一時預かりの実施	所管課所	保育支援課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動(就職活動、通院、リフレッシュ等)との両立を支援する。			保育ステーション及び地域子育て支援センターにおいて、一時預かりを実施する。	
事業の実施内容				
地域子育て支援センター9か所と保育ステーション3か所において、保護者の急用時や子育てのリフレッシュを図りたい時などに、保護者に代わって児童を一時的に保育する一時預かり事業を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 年間利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 年間利用児童数(延べ)	
【目標】 36,400人			【目標】 -	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 38,212人			【実績】 12,618人	
			公立支援センター 1,819名 私立支援センター 2,947名 保育ステーション 7,852名	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

48	事業名	保育所運営(市立)	所管課所	保育施設課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市立保育所17か所において良質かつ適切な保育サービスの提供に努めるとともに、障がい児保育・延長保育等多様な保育ニーズに応えられるよう、適正な保育所運営の確保に努めることで、市民の育児と他の活動の両立を支援する。			適正な保育所の運営を通じて、良質で適切な保育サービスを提供する。	
事業の実施内容				
通常の保育サービスに加え、特別支援保育や医療的ケア児の受け入れなど、様々な支援を必要とする児童に対して保育サービスを提供した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 保育所(市立)の定員			【成果指標】 保育所(市立)入所児童数	
【目標】 2,050人			【目標】 ー	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 2,038人			【実績】 1,864人	
令和7年度は、旧大沢第一保育所と旧中央保育所を統合した「緑の森公園保育所」が開所したことにより、公立保育所は18か所から17か所となった。			保育を必要とする多くの児童に対し、保育サービス提供することができた。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

49	事業名	延長保育の実施	所管課所	保育支援課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と就労等との両立を支援する。			就労形態の多様化や通勤時間に即した保護者のニーズに適切に対応するため、延長保育を実施する。	
事業の実施内容				
就労形態の多様化や通勤時間に即した保育ニーズに対応するため市内の認可保育所114か所（公立17か所、私立23か所、認定こども園11か所、地域型保育事業所63か所）において保育認定時間を越える延長保育を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 利用児童数(延べ)	
【目標】 7,395人			【目標】 ー	
【実績】 6,191人			【実績】 47,586人	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
定員の増加を行うことにより、延長保育を実施できる人数を増やすことができた。			昨年度実績(52,292人)に比べ減少したものの、利用人数は依然として多く、育児と就労の両立の支援を行っている。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)			多様化する保護者のニーズに適切できるよう各保育施設にて順調に取り組んでいる。	
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

50	事業名	病児等保育の実施	所管課所	保育支援課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			病気で患中又は回復期にある生後3ヶ月から小学校3年生までの乳幼児・児童を一時的に保育する。	
事業の実施内容				
社会福祉法人等に委託している市内2か所の病児保育室で、看護師及び保育士を配置し、病気で患中又は回復期にある生後3ヶ月から小学校3年生までの乳幼児・児童を一時的に保育した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 利用児童数(延べ)	
【目標】 610人			【目標】 ー	
【実績】 610人			【実績】 956人	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
			保護者の子育て及び就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成に寄与できた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		前年度に引き続き、病児保育室として、児童が病気であっても保育可能である安心な預け先として、働く保護者に認識されている。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一步）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

51	事業名	保育所(園)入所(園)事業(私立等)	所管課所	保育支援課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			多様化する保育需要に対応するため、市内の民間保育施設(私立保育園、認定こども園、施設型給付を受ける幼稚園、地域型保育事業所)及び市外の保育施設の保育の実施を委託する。	
事業の実施内容				
市内の民間保育施設101か所(私立保育園23か所、認定こども園11か所、施設型給付を受ける幼稚園1か所、地域型保育事業所66か所)及び市外の保育施設に、市内児童の保育を委託した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 市内保育施設(私立等)の定員			【成果指標】 市内保育施設(私立等)、市外委託保育の利用人数(延べ)	
【目標】 5,345人			【目標】 ー	
【実績】 5,518人			【実績】 61,705人	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
令和7年度は認定こども園が1か所開園したが、幼稚園1か所で定員の減少があった。			前年度実績比で約2.5%増加となった。認定こども園が市内で新たに開園したことが要因として考えられる。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

52	事業名	学童保育室運営	所管課所	保育施設課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、指導員による学童保育を運営する。	
事業の実施内容				
市内57か所の学童保育室において、保護者が就労等により保育できない児童に対して、放課後の遊びや生活の場を提供した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 公立学童保育室入室児童定員			【成果指標】 公立学童保育室の利用人数(延べ)	
【目標】 3,425人			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 3,709人			【実績】 41,515人	
令和7年度は大袋東学童保育室の改修のほか、5学童保育室において定員の弾力化により定員増を図った。今後も受入児童の拡充及び保育環境の充実のため、施設整備事業を推進する。			入室を希望する児童が一人でも多く利用できるよう、途中退室や入室辞退により生じた定員の空きに対して入室選考を毎月実施し、受入児童の増加に努めた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標

Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり

施策の方針

4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

取り組みの方向

(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【達成度】

5（十分に達成できた）：目標値の100%以上

4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満

3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満

2（達成は不十分）：目標値の60%未満

53	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	所管課所	児童館コスモス
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
父親に、育児の参画を促進するための意識の啓発を図る。			父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)	
事業の実施内容				
親子で楽しめるミニ運動会遊びを開催。 ただし、ひとり親家庭等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 88%			【実績】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集:各回こども18人(5回開催) 参加:64組(①12組 ②15組 ③11組 ④13組 ⑤13組) (内訳:父親43人、母・祖父母等45人、こども71人) ※定員を18組(1組2人)として計算。			事業後のアンケート結果によると、「とても楽しかった(非常に満足)」と「楽しかった(満足)」の割合が100%だった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
申し込み方法について、申し込みは電話受付・電子申請としているが、申込みが少なかったため、館内で積極的に申込み案内を周知したところ、多くの参加申し込みがあった。今後は、申し込み方法やPR方法等の検討をする必要がある。			CityメールやLINE配信を活用し、PRに努めていくことや、現在電話予約よりも電子申請の利用頻度が多いため、電子申請枠を増やして。また、講師の方と話し合い、内容の再検討も行う。	

54	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	所管課所	児童館ヒマワリ
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
父親に、育児の参画を促進するための意識啓発を図る。			父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)	
事業の実施内容				
父子で楽しめる運動遊びや制作等を中心に年9回開催。ただし、ひとり親家庭等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 81%			【実績】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集:各回15組(※①は12組、⑥は20組)(全9回) 参加:106組(①9組 ②10組 ③13組 ④12組 ⑤9組 ⑥18組 ⑦15組 ⑧10組 ⑨10組) (内訳:父親68人、母・祖父母等43人、こども112人)			事業後のアンケート結果によると、「とても楽しかった(非常に満足)」と「楽しかった(満足)」の割合が100%だった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A			予定通りに開催でき、リピーターも増えてきており、参加者の満足度が高いことから、評価を「A」とした。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
父親が参加しやすい環境づくりに努める必要がある。			Cityメールや電子申請を活用し、PRに努めていく。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

55	事業名	両親学級の開催	所管課所	こども家庭センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
妊婦とその配偶者に、育児の参画を促進するための意識啓発を図る。			新生児の保育の講義や沐浴実習など、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を両親で習得するための講座を開催する。	
事業の実施内容				
1日目: 歯科保健講座 2日目: 助産師による妊娠中～産後の生活についての講座、妊娠中の栄養講座 3日目: 沐浴実習・新生児の保育・妊婦体験 歯科や栄養に関する資料を配布				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加人数(延べ)			【成果指標】 満足度	
【目標】 1,400人			【目標】 95%	
【達成度】 3(達成まで今一步)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 1,042人			【実績】 98.8%	
出生数の減少により、参加者数も若干減少した。			アンケート結果により、参加した感想として「よかった」が98.8%、「ふつう」が1.2%、「よくなかった」は0%だった。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)				
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
妊娠期から出産・子育ての不安や心配が強く、既往症などから集団の講座参加が難しく個別で支援が必要なケースが増えている。			妊娠期から、こども家庭センターなどの関係機関と連携しながら情報共有し、不安の解消ができるよう寄り添った支援を行い、安心して子育てができる環境を整える。	

56	事業名	男性の生活自立能力開発のための講座の開催	所管課所	健康づくり推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男性の家事などの生活能力向上を促し、家庭内の固定的性別役割分担の見直しを図る。			男性を対象に、調理技術や栄養知識などを学ぶための講座を開催する。	
事業の実施内容				
ヘルスメイトの男性クッキング 6/11:11人、9/10:14人、12/10:13人、3/4:10人 合計48人				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 90%	
【実績】 75%			【達成度】 5(十分に達成できた)	
参加者数:48人 定員:16人×4回=64人 開催日によって参加率にバラつきが生じた。			アンケート回答者数:47人 満足:77% ほぼ満足:15%	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			令和7年度からヘルスメイトに委託して実施したことにより、効率的で丁寧な教室開催となった。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
参加者数の増加のためには、開催日や開催時間の検討が必要である。			土日や、夜間の時間帯の開催が理想であるが、ヘルスメイトとの協議が必要となる。	

基本目標
 施策の方針
 取り組みの方向

Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり
 5 地域社会における男女共同参画の推進
 (1) 男女共同参画の視点を踏まえた地域活動の推進

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

57	事業名	民生委員・児童委員等への意識啓発	所管課所	福祉総務課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
民生委員・児童委員等に男女共同参画への意識啓発を図る。			民生委員・児童委員等に対し、男女共同参画の促進のための情報提供を行う。	
事業の実施内容				
13地区ごとに組織されている民生委員・児童委員協議会の定例会において、男女共同参画、人権に関する意識啓発、講演のチラシ等の配布を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 情報提供の実施回数			【成果指標】	
【目標】 5回			【目標】 ー	
【実績】 4回			【実績】 ー	
多くの民生委員・児童委員に情報提供を行うことで、意識啓発につながった。			多くの民生委員・児童委員に情報提供を行うことで、意識啓発につながった。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
民生委員・児童委員に求められる役割は多様化しているため、男女共同参画や人権に関する啓発も継続的に行う必要がある。			今後も定例会や会議を通じて、講演会などの研修参加を促し、その他の情報提供についても積極的に行う。	

58	事業名	ファミリーサポートセンター事業の充実	所管課所	こども政策課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
地域社会において、市民の育児と他の活動との両立を支援する。			子育ての援助を受けたい方・行いたい方を地域でコーディネートするファミリーサポートセンターを運営するとともに、病児・緊急対応強化事業として、緊急サポートセンター事業を実施する。	
事業の実施内容				
保育施設等への送迎や一時預かりなど、会員同士による相互援助活動をコーディネートするファミリーサポートセンターを運営し、仕事と育児の両立を支援した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 提供会員数			【成果指標】 利用件数	
【目標】 377人			【目標】 ー	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 216人			【実績】 3,094件	
令和4年度に登録されている提供会員を精査し、実際に提供可能な会員を確認したところ、会員数が減少したことから、目標には至らないものの、前年度から会員数は増加したため達成度を「4」とした。			件数は減少しているものの、仕事と育児の両立を支援することができた。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
提供会員の高齢化と担い手不足			提供会員を増やす講習会の開催回数を増加させる。	

基本目標	Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり	【達成度】
施策の方針	5 地域社会における男女共同参画の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 男女共同参画の視点を踏まえた地域防災の推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一步）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

59	事業名	防災活動における男女共同参画の啓発	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
防災分野における男女共同参画を推進する。			防災における女性リーダー養成のための講座等を実施する。	
事業の実施内容				
11/23「第39回越谷市・大相模地区合同防災訓練」にブース出展 災害時におけるジェンダー格差についてのパネル展示、ワークショップを通じて防災意識を高め災害時に積極的に活動できるよう促した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 1回			【実績】 ー	
ワークショップ ①パラコードストラップ作り(参加者6人) ②簡易トイレ組み立て体験(参加者4組) ③パネル展示内容のクイズ(参加者45人)			来場者は家族連れも多く、幅広い年代に防災情報を提供することができた。簡易トイレ組み立て体験では、児童から「なんでこのトイレが必要なの？」などの質問や、「実際に座ってみると怖い」といった感想があり、災害時の避難生活を自分事として考えるきっかけづくりの場を提供できた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

60	事業名	防災活動における女性の参画促進	所管課所	危機管理室
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
非常時においても男女の人権が尊重され、また防災分野における方針決定過程への女性の参画が拡大するよう、防災訓練においても男女共同参画の視点を踏まえる。			市が主催する地域の防災訓練において、女性の参加を促す。	
事業の実施内容				
「令和7年度越谷市・大相模地区合同総合防災訓練」において自治会等の参加団体に対し、事前説明会等で男女共同参画の必要性を伝えた。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 防災訓練の実施回数			【成果指標】 防災訓練の女性の参加割合	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 30.5%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
			「令和7年度越谷市・大相模地区合同総合防災訓練」において、参加総数(市の職員を含む)967人に対し、女性の参加者は295人(30.51%)となった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
防災訓練における女性参加割合を増やすためにも、女性が参加しやすい環境整備が必要である。			防災訓練において、より役立つ実践的な訓練内容及び、女性が参加しやすい環境を整備する。	

基本目標	Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり	【達成度】
施策の方針	5 地域社会における男女共同参画の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 男女共同参画の視点を踏まえた地域防災の推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一步）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

61	事業名	防災備蓄品における女性への配慮	所管課所	危機管理室
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
被災時における男女のニーズの違いを把握し、備蓄品について女性への配慮を行う。			特に女性が必要と思われる用品を備蓄品として確保する。	
事業の実施内容				
令和3年度から令和7年度までの備蓄計画に基づき、簡易間仕切り、生理用品、サニタリー袋等、女性に配慮した防災備蓄品を確保した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 主な女性向け用品の備蓄率			【成果指標】	
【目標】 100%			【目標】 ー	
【実績】 100%			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
			女性に配慮した防災備蓄品を確保し、防災体制を整えることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
防災備蓄品の購入等の見直しや女性が必要であると考えられる防災備蓄品の調査および検討を行う必要がある。			最新の防災備蓄品について調査し、今後の備蓄計画に反映できるよう検討する。	

62	事業名	防災活動における女性消防団員の参画	所管課所	警防課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
大規模災害等が発生し、避難所を開設した際、女性消防団員が運営の補助にあたり、避難者へのきめ細やかな対応を行う。			避難所運営所管課の職員を講師として、避難所運営に必要な研修を実施する。	
事業の実施内容				
「避難所運営補助活動」に係る訓練(回数:6回、参加者:19人)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 研修の実施回数			【成果指標】	
【目標】 2回			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 6回			【実績】 ー	
市内の小中学校を会場とした「避難所開設訓練」に自主防災組織とともに参加した。			団員個人のスキルアップにつながり、知識及び技術の上達が見られた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			当初の想定よりも多くの訓練に参加することができ、個人のスキルアップにつながった。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
避難所開設訓練に複数回参加したことのある女性消防団員が増えてきており、スキルアップが図れている一方で訓練のマナー化が進んでいる。			より実践的で高度な訓練への参加を検討していく。	

基本目標	Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり	【達成度】
施策の方針	5 地域社会における男女共同参画の推進	5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
取り組みの方向	(3) 誰もが安心して暮らせる環境の整備	4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
		3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
		2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

63	事業名	困難を抱える女性を支援するための事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
さまざまな困難を抱えた女性の自立を促すための支援を行う。			さまざまな困難を抱えた女性が長期的展望を持ち生活できるように支援する講座等を実施する。	
事業の実施内容				
3/5、3/7女性の生きづらさを語る「ほっとcafe」 生きづらさを抱えた女性が安心して過ごせる、話せる、聞いてもらう空間を提供した。世代をわけることにより価値観や悩みを共有しやすいよう3回に分けて開催した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 1回			【実績】 ー	
①3/5午前(対象:30～40歳ごろの女性、参加者:1人) ②3/5午後(対象:50～60歳ごろの女性、参加者:6人) ③3/7(対象:10～20歳ごろの女性、参加者:0人)			「同年代の方とお話しできてありがたい機会だと思った」「もやもやした気持ちがすっきりして、楽しくお話しができた」などの感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

64	事業名	外国人市民のための情報提供	所管課所	市民活動支援課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
外国人市民のために庁内での通訳や、行政資料の多言語翻訳など自立を促すための支援を行う。			外国人のDV相談などに通訳を派遣するとともに、子育てや福祉など、必要な行政資料を多言語に翻訳して情報提供を行う。	
事業の実施内容				
①令和7年度庁内通訳派遣・窓口対応件数(334件)②令和7年度庁内翻訳依頼件数(119件)③モバイル端末機による遠隔通訳サービス対応件数(98件)④外国人相談窓口対応件数(317件)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 支援件数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 240件			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 868件			【実績】 ー	
通訳派遣・窓口対応実績件数+翻訳実績件数			他課所からの依頼等に基づき、通訳・資料翻訳を行うことで外国人市民の自立を支援することができた。外国人相談窓口にて、外国人からの幅広い相談に対応している。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
国際交流員による通訳に加え、モバイル端末機による遠隔通訳サービスにより、幅広い言語での通訳に対応できた一方、遠隔通訳サービスにて、希望言語での通訳が受けられない課題があった。			4人の国際交流員により、外国人の相談に対応している。各種研修への参加により、国際交流員のスキルアップにつとめ、さらに丁寧かつ適切に対応できるようにしていきたい。	

基本目標 III 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 5 地域社会における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (3) 誰もが安心して暮らせる環境の整備

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

65	事業名	生活困窮者自立支援制度による支援	所管課所	生活福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
生活困窮者に対し、自立のための支援を行う。			生活困窮による自立の過程で、生活困窮者自立支援制度に基づく事業（自立相談支援事業、住居確保給付金、家計改善支援事業、こどもの学習・生活支援事業）等による支援を行う。	
事業の実施内容				
生活困窮による自立の過程で、必要に応じて生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業、住居確保給付金、就労準備支援事業、地域居住支援事業、家計改善支援事業、こどもの学習・生活支援事業）や生活困窮者自立支援金給付事業による支援を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 新規相談件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 605件			【実績】 ー	
【達成度】 5（十分に達成できた）			【達成度】 5（十分に達成できた）	
生活困窮者に対し、自立に向けた制度の案内と利用提案を行った。			自立相談支援事業の利用の意思を示したDV被害者に対し、自立相談支援機関の相談支援員がそれぞれの相談内容に応じた支援をすることができた。	
事業の評価				
A（順調に取り組んでいる）		自立相談支援事業の活用により、就労支援や住居確保、他法他施策案内（生活保護）等を実施し、それぞれの抱える問題解決に向けた支援を行うことができた。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
生活困窮者の抱える問題は多種多様であるため、主訴を適切に把握し、個々の相談者に応じた柔軟な対応が求められる。			生活困窮者の主訴を適切に把握した上で、自立相談支援事業を実施していくとともに関係機関との連携を強化していく。	

66	事業名	障がい者福祉制度による支援	所管課所	障害福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
障がい者に対し、自立のための支援を行う。			障がい者の自立の過程で、必要な場合には障害福祉サービス等(介護給付・訓練等給付)を利用し支援を行う。	
事業の実施内容				
障がい者の住まいの場となるグループホームの整備を推進した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 居室数			【成果指標】	
【目標】 400室			【目標】 ー	
【実績】 653室			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
			グループホームの整備が進み、障がい者に対し、障がい者福祉制度による支援を行い、自立を促進することに寄与した。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 5 地域社会における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (3) 誰もが安心して暮らせる環境の整備

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

67	事業名	介護(予防)サービス事業の実施	所管課所	介護保険課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護保険サービスの提供により介護を必要とする人や家族の負担を軽減する。			要介護及び要支援者が、介護を必要とする程度に応じて利用した介護(予防)サービスの費用を介護保険から給付する。	
事業の実施内容				
要介護及び要支援者が利用した居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、介護予防・生活支援サービス等について、利用者負担額(1割、2割又は3割)を除いた額を、埼玉県国民健康保険団体連合会を通じ、介護サービス事業者へ支払った。低所得者に対しては、経済的理由により介護サービスを抑制することがないよう、利用者負担の軽減を行い、適切な介護サービスの利用を促進した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 介護(予防)サービスの年間利用件数(延べ)			【成果指標】 介護(予防)サービス利用者率	
【目標】 464,306件			【目標】 13.3%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 492,326件			【実績】 19.5%	
居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、介護予防・生活支援サービス等の利用件数			介護(予防)サービス利用者数÷65歳以上高齢者数×100	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
要介護及び要支援者が適切なサービスを受けられているか確認する必要がある。			要介護及び要支援者のケアプランの点検を行うことで、ケアプランの質的向上を図り、併せて事業者の介護サービスに対する意識を高め、不適切なサービス提供を防止する。	

68	事業名	介護保険に関する情報提供	所管課所	介護保険課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護保険制度の周知を図り、介護保険サービス利用を促進する。			介護保険パンフレット「あんしん介護保険」を所定場所に配架及び説明会等において配布を行う。同パンフレットをもとに、市ホームページにアクセスすることで、より介護保険制度の周知を図る。	
事業の実施内容				
令和7年9月に介護保険パンフレット「あんしん介護保険」を作成し、介護保険課の窓口以外にも、各地区センターや保健センター等に配架を依頼した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 説明会等の回数			【成果指標】 市ホームページの介護保険関連の閲覧件数	
【目標】 5回			【目標】 289,000件	
【実績】 2回			【達成度】 2(達成は不十分)	
市民や団体等からの要望が少なかった。			【実績】 —	
令和4年11月の市ホームページリニューアルに伴い、今までの指標が集計できなくなった。				
事業の評価				
—(評価困難)			指標の集計ができなくなったことから評価不可。	
<前年度評価> —				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
介護保険制度の周知を図るために、誰にでもわかりやすいパンフレットやホームページの作成を行う必要がある。			パンフレットやホームページの作成時に、制度の内容を知らない人からの意見や質問に対応できる内容となるように工夫する。	

基本目標 Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 5 地域社会における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (3) 誰もが安心して暮らせる環境の整備

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

69	事業名	母子生活支援施設への入所	所管課所	こども家庭センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
児童の養育に困難を抱える母子世帯からの相談を受け、母子世帯に対して保護を行う。			児童の養育に困難を抱える母子世帯からの相談を受け、必要に応じて母子生活支援施設への入所などの支援を行う。	
事業の実施内容				
児童の養育に困難を抱える母子世帯の相談を受け、母子生活支援施設の入所等の支援を行った。 また既入所者の保護を継続して行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 相談・入所件数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 2件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
目標値の設定は、事業の内容からなじまないものの、児童の養育に困難を抱える母子世帯からの相談を受け、母子世帯に対して保護を行うという当初の目的が達成されている。			児童の養育に困難を抱えている母子世帯の保護を継続及び新規入所ができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

70	事業名	母子家庭等の就労支援	所管課所	こども福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
母子及び父子家庭の母親及び父親の就労を支援する。			母子及び父子家庭の母親及び父親の就労に結びつくような情報の提供に努めるとともに、就労に有効な資格の取得を支援するため、母子自立支援員の面接を通し、教育訓練給付金などの支給を行う。	
事業の実施内容				
就労に結び付きやすい知識・技能を身につけるため、雇用保険法で定める教育訓練講座を受講し修了した場合に受講費の一部を支給した。(自立支援教育訓練給付金) また、修業期間中の生活費の一部を支給した。(高等職業訓練促進給付金)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 支給件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 6件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
自立支援教育訓練給付金:3件 高等職業訓練促進給付金:3件 ひとり親家庭高卒認定試験支援給付金:0件			給付金を支給することでひとり親への就労支援を行うことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 5 地域社会における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (3) 誰もが安心して暮らせる環境の整備

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

71	事業名	母子家庭等の生活支援	所管課所	こども福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
母子家庭の母及び父子家庭の父並びに寡婦の方の経済的自立や、扶養しているこどもの福祉増進のために必要な資金を貸付ける。			母子家庭等に対しても、福祉資金の貸付を行う。	
事業の実施内容				
母子家庭の母及び父子家庭の父並びに寡婦の方に対して必要な資金を貸し付けることにより経済的な支援を図った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 貸付件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 7件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
支援体制を整えることができた。			必要な資金を貸し付けることにより経済的な支援を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 6 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の推進

【達成度】
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

72	事業名	性と生殖に関する健康と権利についての講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民に、性と生殖に関する健康と権利についての意識の普及・啓発を図る。			性と生殖に関する健康と権利についての講座を開催する。	
事業の実施内容				
2/21「女性と男性の更年期講座～モヤモヤの正体を知って対策しよう～」 一生を通じた性ホルモンの変化や女性・男性別の更年期特有の不調原因と対策をわかりやすく解説する講座を開催した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 50%			【実績】 89%	
【達成度】 3(達成まで今一歩)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集人数:20人 参加者:10人(女性7人、男性3人)			アンケートの満足・ほぼ満足の合計 「女性だけではなく男性の更年期についても取り上げていただき、よく理解できた」との感想があった。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)			本講座は「女性と男性の更年期」をテーマに設定したが、対象を広く設定したことで、結果的にターゲット層が不明確となり、参加者への訴求力が弱まったと考えられる。女性・男性それぞれで関心や課題意識が異なる中、ニーズに即した具体的なメッセージを打ち出せなかった。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
性別により関心や課題が異なる中で、それぞれに応じたニーズの整理や発信が不十分であった。			対象を明確に設定し、テーマや内容を分けて実施することで、より具体的に「自分に関係のある講座」であると認識してもらえるよう改善を図る。	

73	事業名	生涯を通じた女性の健康に関する講座の開催	所管課所	健康づくり推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民に、生涯を通じた女性の健康に対する意識の普及・啓発を図る。			生涯を通じた女性の健康に関する講座を開催する。	
事業の実施内容				
市内在住の更年期障害に関心のある女性30人を対象に、更年期と上手く付き合うための対処方法についての講座を全3コースで実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 50%			【目標】 90%	
【実績】 49%			【実績】 100%	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
申込者数30人 延べ参加人数44人 3回すべて参加できたのは6人			アンケート回答者数延べ43人 満足:67% ほぼ満足:33%	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			アンケート結果から「満足」「ほぼ満足」が100%となり、参加者の満足度は高い。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
40～50代の女性を対象としているが、平日の日中は都合がつかない方が多い。			次年度は、オンラインの限定配信等も検討していく。	

基本目標 Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 6 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の推進

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

74	事業名	女性特有の疾病の予防・啓発(乳がん)	所管課所	健康づくり推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
妊娠・出産等、男性とは異なる身体機能に由来する女性の健康上の問題についての適切な対応を図る。			乳がん検診を実施する。	
事業の実施内容				
対象者:35歳以上の女性で奇数月生まれの方、令和6年度未受診の方、がん検診総合支援事業の対象の方 内容:問診、マンモグラフィ(X線)検査、視触診				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 受診者数			【成果指標】 受診率	
【目標】 11,500人			【目標】 16.5%	
【実績】 6,696人			【実績】 11%	
【達成度】 3(達成まで今一歩)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
受診勧奨通知を69歳までの方に、また、未受診者には、受診再勧奨はがきを送付した。がん検診総合支援事業の対象者には無料クーポン券を発行した。その他、SNSを活用するなど、積極的に周知を図ることができたため、達成度は「3」とした。			受診率については2年連続受診者を差し引いて算出することとなっている。目標には至らなかったが、積極的な周知を図ることができたため「4」とした。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)			R7年度より集団検診を全面的にマンモグラフィ検査のみとし、1日で検査が終了できるよう利便性	
<前年度評価> B			を図った。また、施設検診の期間延長をおこなった。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
新型コロナウイルス感染症の影響で低下した受診率は、回復していない。しかし、集団検診の方法を変えたことにより、若い年齢層の受診率が向上している。引き続き、啓発に力を入れていく。			ナッジ理論を活用した効果的な受診勧奨媒体を作成し、対象者へ通知するとともに、積極的にSNSを活用した周知を図る。また、未受診者には再勧奨を行う。受診しやすい体制を整える。	

75	事業名	女性特有の疾病の予防・啓発(子宮頸がん)	所管課所	健康づくり推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
妊娠・出産等、男性とは異なる身体機能に由来する女性の健康上の問題についての適切な対応を図る。			子宮頸がん検診を実施する。 ※子宮頸がん検診受診者のうち、医師の判断で必要と認められた方に子宮体部がん検査を実施する。	
事業の実施内容				
対象者:20歳以上の女性の方、がん検診総合支援事業の対象の方 内容:問診、子宮頸部・体部の細胞診				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 受診者数			【成果指標】 受診率	
【目標】 14,000人			【目標】 9.6%	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 10,621人			【実績】 7.3%	
受診勧奨通知を69歳までの方に、また、未受診者には、受診再勧奨はがきを送付した。がん検診総合支援事業の対象者には無料クーポン券を発行した。その他、SNSを活用するなど、積極的に周知を図ることができたため、達成度は「4」とした。			目標には至らなかったが、積極的な周知を図ることができたため「4」とした。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)			未受診者には再勧奨を実施し、受診率の向上を図った。特に、廃院した医療機関の昨年度受診者に再勧奨通知を送付し、うち77%の受診につなげた。	
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
コロナ禍以前の受診率まで回復しているが、実施医療機関数の減少により、目標値の達成まで至っていない。引き続き、効果的な受診勧奨を実施していく。			ナッジ理論を活用した効果的な受診勧奨媒体を作成し、対象者へ通知するとともに、積極的にSNSを活用した周知を図る。また、未受診者には再勧奨を行う。また、がん検診指針に基づいた検診の実施に向け体制を整える。	

基本目標 III 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 6 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の推進

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

76	事業名	男性特有の疾病の予防・啓発(前立腺がん)	所管課所	健康づくり推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性と異なる身体機能に由来する男性の健康上の問題についての適切な対応を図る。			前立腺がん検診を実施する。	
事業の実施内容				
対象者:①50,55,60,65,70,75歳の男性の方、②上記の年齢以外の51歳から74歳までの男性で過去4年以内に前立腺がん検診を受けていない方 内容:血液検査(PSA検査)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 受診者数			【成果指標】 受診率	
【目標】 3,080人			【目標】 21.5%	
【実績】 1,208人			【実績】 7%	
【達成度】 3(達成まで今一歩)			【達成度】 3(達成まで今一歩)	
受診勧奨通知を50歳、55歳、60歳から69歳までの方に、また、未受診者には受診再勧奨通知を送付した。その他、SNSを積極的に活用するなど、積極的に周知を図ることができたため、達成度は「3」とした。			受診率は、節目年齢(50.55.60.65.70.75歳)で算出し、それ以外の受診者は計算に含まない。目標には至らなかったが、積極的な周知を図ることができたため「3」とした。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)			未受診者には再勧奨を実施し、受診率の向上を図った。	
<前年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
前立腺がんは検査をするとほぼ陽性になり治療につながるため、他のがん検診とは異なり一度検診をうけたら再度検診を受けることがなく、対象者が一巡していると考える。また、市の検診以外の職域検診等で受けられる体制があるため受診者数は上がらないと思われる。			初回受診者数を増やすため、特定健康診査等他の検診とのセット受診できる体制を整えることや、未受診者に再勧奨を実施する。	

77	事業名	思春期保健講座の開催	所管課所	こども家庭センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内の小中学生に、男女の性の違いや命の大切さについての認識を促すとともに、お互いに尊重し合う意識の啓発を図る。			思春期の性や命の大切さに関する講座を開催する。	
事業の実施内容				
小中学校の保健体育や総合学習などの時間を利用して、いのちの大切さ、生命の誕生、第二性徴について等の助産師の講話を中心とした講座を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加人数			【成果指標】 理解度	
【目標】 ー			【目標】 90%	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 310人			【実績】 99%	
年度当初に希望校を募集し、市内小学校4校で実施した。			アンケート結果により、「理解できた」「ほぼ理解できた」の合計が99%、未記入が1%だった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
昨今、小学校からの講座申し込みのみであり、中学校を対象とした講座の実施ができていない。			周知方法の工夫や実施内容を検討していく。	

基本目標 Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 6 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (1) 男女の性と人権尊重の理解の推進

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

78	事業名	不妊治療費の助成	所管課所	感染症保健対策課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男女の異なる健康上の問題に対して適切な支援を行う。			「特定不妊治療」(体外受精・顕微授精)を受けた夫婦に対し、その治療費の一部を助成する。	
事業の実施内容				
R4.4.1から保険適用になったが、それでも自費で助成を受けるという人は、「前年度から、年度を跨いで治療をしている人」「過去に凍結した卵子を使う人」「選択できるので、自費の方が得する人」がいる。それも治療はR4年度末までで、その申請の締切が猶予をもってR5.5.1までとなり、令和6年度から実績は無い。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 申請者数			【成果指標】	
【目標】 400人			【目標】	
【実績】 —			【実績】 —	
【達成度】			【達成度】	
令和4年4月から特定不妊治療が保険適用とされたことにより、当該助成事業が終了(R5.9.1要綱の廃止を告示)				
事業の評価				
—(評価困難)		令和5年5月をもって事業終了		
<前年度評価> —				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
令和5年5月をもって事業終了			令和5年5月をもって事業終了	

基本目標 III 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 6 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (2) こころとからだの相談等の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

79	事業名	女性相談の実施	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性が生涯にわたって心身ともに健康に過ごせるよう、相談体制の充実を図る。			女性の生き方やパートナーに関する悩みの解決を支援するために、専門の相談員が、電話相談及び面接によるカウンセリングを行う。また、必要に応じて関係機関等への同行支援を行う。	
事業の実施内容				
女性・DV相談支援センターにおいて専門の相談員による面接相談と電話相談を実施した。〔面接・電話相談〕月～土:午前10～12時、午後1～4時(第4土曜日の午後2～4時は除く)〔電話相談〕水、金:午後5～8時				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 電話・面接相談件数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 422件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
相談体制を整えることができた。			相談員が相談者に寄り添い、市が実施する事業や制度など、必要な情報提供や具体的な取り組みの提案を行うなど、様々な課題の解決の一助となる支援を行うことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
相談者を取り巻く環境や課題が複雑化していることにより、複合的な要因が絡む相談事案への対応が引き続き、必要である。			支援に繋がる制度や事業等について相談員と情報共有するとともに、関係機関との連携を一層強化する。	

80	事業名	女性のための法律相談の実施	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性が生涯にわたって心身ともに健康に過ごせるよう、相談体制の充実を図る。			男女共同参画支援センターにおいて、女性の弁護士が離婚や職場でのセクシュアル・ハラスメントなどの法律上の問題について面接相談を受ける。	
事業の実施内容				
「ほっと越谷」の相談室において、毎月第4土曜日の午後2～4時に、女性弁護士による法律上の問題についての面接相談を実施した。（DV相談にも対応）				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 相談件数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 7件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
相談体制を整えることができた。			結婚、離婚、相続、親子、扶養など、悩みを抱える女性に対して、法的な視点から専門的なアドバイスを個別的行うことで、相談者の支援を行うことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 III 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 6 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (2) こころとからだの相談等の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

81	事業名	人権相談の実施	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性が抱える人権に関する悩み等に対し、援助及び救済を行うことで、女性の基本的人権の擁護を図る。			毎月第1・3木曜日、人権擁護委員の日及び人権週間に相談日を設け、人権擁護委員による人権相談を行う。また、事業の実施にあたり、広報紙等を通じて周知を図る。	
事業の実施内容				
毎月第1・3木曜日(祝日の場合は翌週)に市役所本庁舎4階相談室において、人権相談所を開設した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施回数			【成果指標】	
【目標】 25回			【目標】 ー	
【実績】 25回			【実績】 ー	
計画どおり年間24回の人権相談所の開設ができた。例年実施している「ひのき荘」での人権相談も実施できた。なお、相談件数については、不開示情報のため平成30年度から記載しない。			相談体制の整備の継続により、人権相談を必要とする方への対応をスムーズに行うことができた。適切な援助により、基本的人権の擁護を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
より多くの市民からの人権相談に応じるため、人権相談所の開設をさらに周知する必要がある。			広報や、人権週間や市民まつりなどの街頭啓発活動での周知に取り組んできたが、さらなる効果的な周知方法を模索する。	

82	事業名	女性の保護・支援	所管課所	こども家庭センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
夫以外の家族からの暴力の被害を受けているなど、深刻な状況にある女性に対し、安全の確保・支援を行う。 ※夫や元夫などから暴力を受けている女性については、「NO.93女性の緊急一時保護の実施」で支援を行う。			女性・DV相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）等の関係機関と連携し、保護・支援を行う。	
事業の実施内容				
被害者が相談に来た場合、保護や支援の必要性を判断し、一時保護及び埼玉県男女共同参画推進センターへの措置を行う体制を整えた。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 相談・保護件数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 0件			【実績】 ー	
達成度】 5(十分に達成できた)			達成度】 5(十分に達成できた)	
目標値の設定は、事業の内容からなじまないものの、女性の保護・支援に必要な支援体制を整えた。			日頃から関係機関との連絡を図り、随時、適切な支援を行えるような体制を整えることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 Ⅲ 男女が安心して暮らせるまちづくり
 施策の方針 6 生涯を通じた心身の健康づくり
 取り組みの方向 (2) こころとからだの相談等の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

83	事業名	精神保健福祉相談の実施	所管課所	こころの健康支援室
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
性同一性障害(性別不合)等から派生する精神疾患や社会生活上の生きづらさを解消するために、保健・医療・福祉の視点からのサポートを行う。			電話相談や来所相談、家庭訪問、同行支援等、本人の意思を尊重したサポートを行う。	
事業の実施内容				
性同一性障害(性別不合)等から派生する精神疾患や社会生活上の生きづらさを抱えた市民やその家族等から相談があった際は、電話相談や来所相談、家庭訪問、同行支援等によりサポートを行った。また、関係機関からの相談等にも対応した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 相談・支援件数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 7,257件			【実績】 ー	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
性同一性障害(性別不合)等を主とする相談及び派生する相談内容のリンク集計は困難なため、実績は精神保健福祉相談の総件数を掲載する。			性同一性障害(性別不合)等を含めた、こころの健康相談ができる窓口の整備に努めた。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)			関係機関や家族等からの相談が増えたことから相談窓口の周知が進んでいると考えられる。本人の意思を尊重し、よりそい型の支援を実践して、保健・医療・福祉の視点からサポートを行った。	
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
性同一性障害(性別不合)等による自殺(自死)のリスクについて、関係機関・団体と情報共有する必要がある。			「第2次越谷市のいのち支える自殺対策推進計画」に基づき、全庁的かつ官民協働による自殺対策施策の実施を推進していく。	

基本目標
施策の方針
取り組みの方向

Ⅳ 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
(1) 啓発活動の推進

【達成度】
5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

84	事業名	デートDV防止に関する講座等の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
若年者にデートDV防止のための意識啓発を図る。			男女共同参画支援センター等において、講座・出前講座の開催、パネル展示等を実施する。	
事業の実施内容				
11/5～11/30パネル展「好きなのに…一緒にいるのがつらい～『デートDV』してない？されてない？～」(協力:セイシル)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
			学生の多い交流コーナーで展示を行い、「デートDVチェッカー」を手渡しで配布することで、若年層への周知を行った。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

85	事業名	デートDV防止の啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
若年者にデートDV防止のための意識啓発を図る。			デートDV防止についての啓発資料を市内の大学に配付するとともに、成人式の参加者に配付する。	
事業の実施内容				
デートDV防止の啓発リーフレットを、若年層への啓発資料として、二十歳のつどい参加者に配付した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 リーフレットの配付部数			【成果指標】	
【目標】 2,600部			【目標】 ー	
【実績】 2,690部			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
			対象となる20歳前後の若年層に啓発リーフレットを配付し、デートDV防止の意識啓発を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標
施策の方針
取り組みの方向

IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
(1) 啓発活動の推進

【達成度】
5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

86	事業名	「女性に対する暴力をなくす運動」期間中の集中的な啓発	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民にDV防止の意識啓発を図る。			「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11月12日～11月25日)に、DV防止のためのパネル展示などを行う。	
事業の実施内容				
①11/21～11/28パネル展示「DVってなんだろう？」 ②11/12～11/30「パープルライトアップ」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 2回			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 2回			【実績】 ー	
・市庁舎エントランスホールにてパネル展示を実施 ・「ほっと越谷」にてパープルライトアップを実施			市庁舎エントランスホールにてパネル展示を行い、多くの来庁者へ周知ができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		パネル展示に先駆けて、SNSでパープル色の写真を募集し、応募作品をパネルにて掲載した。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

87	事業名	市民を対象とした講演等によるDV防止の啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課 男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民にDV防止の意識啓発を図る。			DV防止の意識啓発のための講演会または講座を開催する。	
事業の実施内容				
11/9「見えにくい精神的暴力 モラルハラスメント」 DVの中でも気づきにくいモラル・ハラスメントについてフェミニズムの視点から理解を深めてもらい、DVは身体的暴力だけでないことを当事者に気づいてもらうことを目的とした講座を実施し、当事者に対し何ができるか考える場を提供した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 100%			【実績】 82%	
募集人数:30人 参加者:38人(女性34人、男性4人)			アンケートの満足・ほぼ満足の合計 「事例もあり心の傷をどのようにして対応していくか等分かりやすかった。また、力になりたいとも思いました」との感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
 施策の方針 7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
 取り組みの方向 (1) 啓発活動の推進

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

88	事業名	広報紙及びホームページによるDV防止の啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民にDV防止の意識啓発を図る。			ホームページにDV防止に関する情報を掲載する。また「女性に対する暴力をなくす運動」の期間(11月12日～11月25日)に合わせて、広報紙にDV防止に関する記事を掲載する。	
事業の実施内容				
越谷市ホームページにてDV防止やDV相談の窓口等に関する情報を掲載。広報こしがや11月号では、DVに関する相談窓口について掲載し、周知を図った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 広報紙等への掲載回数			【成果指標】	
【目標】 2回			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 2回			【実績】 ー	
			ホームページにDV防止の啓発に関するコラム記事や相談窓口を掲載し、DV防止に関する情報を多くの市民に届けることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

89	事業名	DV・児童虐待発見のための保健医療従事者に対する意識啓発	所管課所	庶務課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
保健医療従事者への意識啓発を行い、DV・児童虐待の早期発見を促す。			研修会やチラシ・パンフレット等の配布により、意識啓発を行う。	
事業の実施内容				
子ども虐待対応委員会を設置し、医師・看護師・助産師・ケースワーカー・医療安全管理者により毎月事例検討を行った。虐待事例についての対応を共有するため、院内研修の実施や関係機関とカンファレンスを行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 受講者数(延べ)			【成果指標】 理解度	
【目標】 ー			【目標】 80%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 1,313人			【実績】 100%	
院内組織：子ども虐待対応委員会(CPT)毎月第3火曜日、計12回開催。関連機関参加：臨時子ども虐待対応委員会(産科・小児科)各年2回程度開催。子ども虐待対応委員会主催による研修を集合及びオンラインで実施。			特定妊婦の情報共有、虐待疑いのある患者発見時の対応、児童相談所通告の可否事例について等、特に臨時的な対応についての情報を地域関連機関と共有することができた。理解度テストを行い、理解を深めた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			講演会に参加できなかった場合は、オンラインにて情報共有を行い、CPTに関する理解促進を図った。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
より多くの職員に周知するには集合研修に加え、オンラインによる研修も引き続き行う必要がある。			子ども虐待対応委員会を中心に引き続き研修会等の企画運営を行い、虐待に関する啓蒙活動を実施する。	

基本目標 IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
 施策の方針 7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
 取り組みの方向 (2) 相談支援体制の充実と被害者の安全確保

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

90	事業名	DV相談窓口の周知	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民にDV相談窓口の周知を図る。			広報こしがやに相談窓口情報を掲載するほか、市内公共施設などに相談窓口案内のカードやリーフレットを設置する。	
事業の実施内容				
市内各施設において、越谷市女性・DV相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)の相談案内リーフレットや、DV相談窓口案内カードを設置するとともに、DV防止及び相談窓口周知を目的としたポスターを掲示した。また、母子手帳交付の際、DV相談窓口案内カードも併せて配付した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 ー			【実績】 ー	
①相談窓口案内リーフレット:市内公共施設に配架、市内小中学校の全職員へ配付②相談窓口案内カード:市内公共施設、市内大学・専門学校、市内鉄道駅に配架、母子手帳とともに配付③啓発と周知のポスター:市内公共施設、市内大学・専門学校、市内商業施設、市内鉄道駅の女性用トイレに掲示			相手方からの追及を考慮しつつ、被害者に届きやすく効果的な周知を行うことで、DV被害者を支援することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

91	事業名	DV相談の実施	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者からの相談を受けることで、DV被害者を精神的に支援する。			女性・DV相談支援センターの専門の相談員が電話や面接によりDV被害についての相談を受ける。	
事業の実施内容				
越谷市女性・DV相談支援センターにおいて、専門の相談員による面接相談と電話相談を実施した。(女性のなやみ相談にも対応)〔面接・電話相談〕月～金:午前10～12時、午後1～4時〔電話相談のみ〕水・金:午後5～8時				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 電話・面接相談件数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 424件			【実績】 ー	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
相談体制を整えることができた。			DV被害者からの相談を専門の相談員が行うことにより、個々の状況に応じた情報提供や助言などの支援を行うことができた。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
相談者を取り巻く環境や課題が複雑化していることにより、複合的な要因が絡む相談事案への対応が引き続き、必要である。			民間団体が有する資源やノウハウを活用しながら関係機関との連携を一層強化する。	

基本目標 IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
 施策の方針 7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
 取り組みの方向 (2) 相談支援体制の充実と被害者の安全確保

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

92	事業名	DVに関する法律相談の実施	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者からの相談を受けることで、DV被害者を支援する。			DV被害における法律上の相談を受ける。	
事業の実施内容				
毎月第4土曜日の午後2～4時に、女性弁護士による法律上の問題についての面接相談を実施した。(女性のなやみ相談にも対応)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 相談件数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 12件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
相談体制を整えることができた。			法律上の視点からのアドバイスを行うことにより、DV被害者の支援を行うことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

93	事業名	女性の緊急一時保護の実施	所管課所	こども家庭センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者(女性)への支援を行う。 ※夫以外の家族から暴力を受けている女性については、「NO. 82女性の保護・支援」で支援を行う。			危険な状況にあるDV被害者(女性)の保護を行う。	
事業の実施内容				
DV被害者を一時的に保護し、埼玉県男女共同参画推進センターへ避難させる体制を整えた。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 保護件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 1件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
目標値の設定は、事業の内容からなじまないものの、DV被害者の相談を受け、保護を行うという当初の目的が達成されている。			女性・DV相談支援センターなどの関係機関と連携し、安全に保護を行うことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶	【達成度】
施策の方針	7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援	5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
取り組みの方向	(3) 自立に向けた支援体制の充実	4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
		3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
		2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

94	事業名	DV・女性相談による関係機関等への同行支援	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者等に、自立のための支援を行う。			DV被害者等が各種手続きを行うための窓口や裁判所等へ行く場合の同行支援を行う。	
事業の実施内容				
相談者の状況に応じて、必要な時に関係機関への同行支援を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 同行支援件数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 9件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
同行先:法律事務所、不動産店、裁判所 等 内訳:DV相談の同行支援8件、女性のなやみ相談の同行支援1件			相談者のニーズに応じた同行支援を行うことで、DV被害者の自立を支援することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

95	事業名	住民基本台帳事務における支援措置	所管課所	市民課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者の自立のために支援を行う。			DV被害者の自立を図るため、相手方からの住所地探索を目的とした住民票の写しや戸籍の附票の写しの請求に応じない措置を行う。	
事業の実施内容				
DV等被害者から支援措置の申出及び他市町村からの通知を受け、相手方からの住民基本台帳の一部の閲覧、住民票(除住民票を含む)の写しの交付、戸籍の附票(除附票を含む)の写しの交付請求に応じないよう措置を講じた。併せて、庁内の関係課所と情報共有を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 支援措置登録件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 428件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
支援措置申出書の受理後、住民票の写しや戸籍附票の写しの発行抑止を行い、庁内の関係各課へ情報連携し、関係市区町村への通知を適切に行った。			住民票の写しや戸籍附票の写しの発行抑止、庁内の関係各課への情報連携、関係市区町村への通知を適切に行うことで、DV被害者の自立した生活を支援することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		市民課で受理した支援措置申出書等に基づいた被害者情報を庁内で共有し、関係各課のシステムとの連携を図ることで、被害者の住所に係る情報を適切に管理することができた。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標
 施策の方針
 取り組みの方向

IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
 7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
 (3) 自立に向けた支援体制の充実

【達成度】
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

96	事業名	国民年金制度に関する情報提供	所管課所	国保年金課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者の自立のために支援を行う。			DV被害者の自立の過程で、必要な場合には国民年金制度に関する情報提供を行う。	
事業の実施内容				
DV被害者からの相談に対し、国民年金の各種手続に関する情報提供を行い、安全かつ適正に処理を行うため日本年金機構(越谷年金事務所)を案内する。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 情報提供件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 3件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
基礎年金番号の変更、各種通知の送付先の変更手続、また国民年金保険料の免除手続における配偶者の所得情報を審査対象から除外する等、DV被害者の情報が加害者に伝わらないための手続を行えるように支援体制を整えることができた。			DV被害者からの相談に対し、国民年金の各種手続に関する情報提供を行うことで、自立を促すことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			今後も継続して情報提供を行っていく。	

97	事業名	生活保護制度による支援	所管課所	生活福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者に対し、自立のための支援を行う。			DV被害者の自立の過程で、必要な場合には生活保護制度による支援を行う。	
事業の実施内容				
DV被害者の自立過程において、生活保護制度による必要な支援を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 生活保護適用件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 1件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
DV被害者に対して、生活費・居住確保に必要な費用等の経済的支援を行った。			DV被害者に対して、生活費・居住確保に必要な費用等の経済的支援を行うことで、自立を促すことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			DV被害者の抱える経済的問題に対して、個々に応じた必要な支援を行うことができた。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
生活困窮者の抱える問題は多種多様であるため、主訴を適切に把握し、個々の相談者に応じた柔軟な対応が求められる。			DV被害者の自立促進のため、ニーズを把握し、生活保護制度で経済的な安定を支援しつつ他機関との連携を図る。	

基本目標
 施策の方針
 取り組みの方向

IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
 7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
 (3) 自立に向けた支援体制の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

98	事業名	高齢の被害者への支援	所管課所	地域包括ケア課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
高齢のDV被害者に、自立のための支援を行う。			被害者の環境上の理由及び経済的理由、心身の状況等を勘案し、必要に応じて特別養護老人ホーム等に入所措置を行う。	
事業の実施内容				
DVを受けたと思われる高齢者を発見した場合、関係機関からの情報収集及び協力を得て、事実確認をした。緊急性の判断を行い、養護者との分離が必要な場合は、一時的に保護のための措置をした。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 入所件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 10件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
DVを受けたと思われる高齢者を発見した場合、生命又は身体に重大な危険が生じるおそれがあると認められる高齢者を、一時的に特別養護老人ホーム等へ措置等をする体制を整えている。			高齢者のDV被害者に対応できるよう支援体制を整えており、状況に応じて保護措置を行うことで、安全の確保を図るとともに、生活の支援を行う体制維持を行えている。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			地域包括ケア課では、権利擁護業務として、DVなどの相談を受けた場合は、訪問等により実態把握を行い、必要に応じて高齢者やその家族の支援を行っている。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
認知症や精神的混乱により、本人の意向を十分に把握できない場合がある。			医療機関、地域包括支援センター、入所施設職員等の専門職の意見を踏まえ、可能な範囲で本人の意思を丁寧に確認する。	

99	事業名	保育所入退所時の支援	所管課所	保育支援課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者に、自立のための支援を行う。			DV被害者の自立の過程で、必要な場合には同伴児童の保育所入退所時の支援を行う。	
事業の実施内容				
DV被害者の就労支援のため、保育施設入所に際して、相談・入所指導等を適切に実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 支援件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 11件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
支援体制を整えることができた。			DV被害者の同伴児童が保育施設へ入所する際に相談及び入所への配慮を行う体制を整えることで、自立支援に寄与できた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標
施策の方針
取り組みの方向

IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
(3) 自立に向けた支援体制の充実

【達成度】
5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

100	事業名	学童保育室入退所時の支援	所管課所	保育施設課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者に、自立のための支援を行う。			DV被害者の自立の過程で、必要な場合には同伴児童の学童保育室入退所時の支援を行う。	
事業の実施内容				
DV被害者の就労支援のため、市内に住民票のない場合でも学童保育室の申請手続きを行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 支援件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 1件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
学童保育室入室に際し、必要に応じて関連機関との連携を図ると共に、学童保育室の申請手続き等に一定の配慮を行った。			DV被害者の同伴児童が学童保育室へ入室する際に配慮することで、自立に向けた活動や就労に安心して取組むことができるよう支援した。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

101	事業名	予防接種・健診等における支援	所管課所	健康づくり推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者に、自立のための支援を行う。			DV被害者の自立の過程で、必要な場合には、本人及び同伴の乳幼児等の予防接種・健診等を行えるよう支援する。	
事業の実施内容				
予防接種や検診等について、電話や訪問、面接などを行いながら継続して受けられるように支援を行う。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 支援件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 0件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
予防接種や健診等について、電話や訪問、面接などを行いながら継続して受けられるように支援体制を整えることができた。			令和7年度は実績なし。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			今後も支援体制を整備した中で継続していく必要がある。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
今年度は申請者がいなかったが、引き続き支援体制の整備は行っていく必要がある。			今後も継続して支援を行っていく。	

基本目標 IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
 施策の方針 7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
 取り組みの方向 (3) 自立に向けた支援体制の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

102	事業名	国民健康保険等への加入相談	所管課所	国保年金課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者に、自立のための支援を行う。			DV被害者の自立の過程で、必要に応じて国民健康保険への加入について支援を行う。また、埼玉県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、後期高齢者医療制度への加入について支援を行う。	
事業の実施内容				
DV被害者へ国民健康保険の加入相談を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 加入件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 0件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
DV被害者から、国民健康保険の加入相談を受けたが、特例的な加入に至った案件はなかった。(後期高齢者医療の加入相談は0件)			DV被害者から相談を受け、適切に案内することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

103	事業名	就学における支援	所管課所	学務課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者に、自立のための支援を行う。			DV被害者の自立過程において、相談等による正確な情報を把握し、本人及び同伴の児童生徒に危険が及ばないように十分配慮しながら、児童生徒の就学について支援を行う。	
事業の実施内容				
他市町村教育委員会をはじめ、関係機関と連携を図り、DV被害者への配慮と児童生徒への就学機会の確保、支援を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 相談・支援件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 10件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
教育委員会と各小中学校が連携し、児童生徒に対して安心して通学できる環境づくりができた。			教育委員会及び各小中学校が、児童生徒への就学機会を確保するという共通理解・共通認識の下、迅速にその対応を図り、学びの場を提供することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			児童生徒の就学機会の確保を図るため、教育委員会や各小中学校のみならず、関係する様々な機関と連携し対応することができた。今後においても、当事業を円滑に進めていくため、関係機関との連携を深めるとともに、情報の共有化に努めていく。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
各学校において、DV事案に対する対応方法を統一的に取り組む必要がある一方、DV事案によって対応方法を配慮する必要がある。			市内小中学校の就学事務担当者研修会において、引き続き研修を実施し共通理解を深めるとともに、事例に基づいた対応方法についても研修内容として取り扱っていく。また、事案によって関係機関と連携し、学校への対応方法等の指示を明確にする。	

基本目標	IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶	【達成度】
施策の方針	7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援	5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
取り組みの方向	(4) 関係機関との連携強化	4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
		3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
		2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

104	事業名	二次的被害防止のための職員研修の実施	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市の職員に、DV被害者への二次的被害防止のための意識啓発及び知識習得を図る。			DV被害者への二次的被害防止のため、全職員を対象に階層別（新採用職員、新主幹級職員、管理職員）研修を行うとともに、職務関係者を対象とした研修を行う。	
事業の実施内容				
①新採用職員研修「DV被害者支援について」②新任主幹職研修「DV被害者支援について」③新任副課長研修「男女共同参画（DVについて）」④DV被害者支援に関する職務関係者研修（23課）⑤行財政部内新任者研修（税3課）を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 職務関係者研修の受講者数			【成果指標】 職務関係者研修の理解度	
【目標】 ー			【目標】 90%	
【実績】 36人			【達成度】 5（十分に達成できた）	
内訳：女性18人、男性18人			アンケート結果により集計。 「よく理解できた」・「だいたい理解できた」の回答者数34人/アンケート回答者数36人×100	
事業の評価				
A（順調に取り組んでいる）				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
被害者支援の対応について、関係各課で共通認識を定着させることが課題となっている。			引き続き、関係各課の担当者に共通理解が深まるよう、研修を実施する。	

105	事業名	相談員の資質向上のための講座等の開催	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV相談を行う相談員の資質向上を図り、相談体制を充実させる。			相談員の資質向上のための講座等を開催する。	
事業の実施内容				
12/2、2/14グループスーパービジョンを実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 開催回数			【成果指標】	
【目標】 2回			【目標】 ー	
【実績】 2回			【実績】 ー	
			相談員がスーパービジョンを受けることにより、相談援助に必要なスキルの向上に繋がった。相談員は普段一人で対応することが多いため、対応の困難さなどを共有する機会にもなった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
相談員の調整がつかず、全員参加することが難しいことが多い。			少しでも多くの相談員が参加できる日時での企画を今後も検討していく。	

基本目標 IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
 施策の方針 7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
 取り組みの方向 (4) 関係機関との連携強化

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

106	事業名	DV被害者支援のための情報連携	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者への二次的被害防止及びDV被害者支援のために、DV被害者支援に携わる市の職員及び関係各課の連携強化を図る。			DV被害者支援に携わる関係各課の相談記録等を活用する。	
事業の実施内容				
庁内外の関係各課や関係機関において、DV被害者についての情報共有が必要な場合に、相談記録等を活用した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 情報連携件数			【成果指標】	
【目標】 ー			【目標】 ー	
【実績】 33件			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
DV被害者支援のため、適切に情報連携することができた。			庁内外との連携の際に、相談記録等を活用することで、DV被害者の負担を軽減し、二次的被害防止や安全確保など、DV被害者支援に寄与することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、関係機関との連携に努める。	

107	事業名	庁内の連携強化	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者支援のために、DV被害者支援に携わる市の職員及び関係各課の連携強化を図る。			庁内の推進体制である男女共同参画行政推進会議のDV被害者支援専門部会において、情報交換を行う。	
事業の実施内容				
越谷市女性・DV相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)の機能、体制としての各課の役割の確認、被害者支援に係る課題の共有や検討などを行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 DV被害者支援専門部会の開催回数			【成果指標】	
【目標】 2回			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 2回			【実績】 ー	
			部会の開催だけでなく、DVマニュアルの見直しを行い、DV被害者への対応について庁内の支援体制を再確認することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、関係機関との連携に努める。	

基本目標 IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
 施策の方針 7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
 取り組みの方向 (4) 関係機関との連携強化

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

108	事業名	関係機関との連携強化	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者支援のために、DV被害者支援に携わる関係機関との連携強化を図る。			DV被害者支援の過程で、関係機関との連携を行うこともあるため、庁外の関係機関との交流の場である会議に参加し、連携の強化に努める。	
事業の実施内容				
①配偶者暴力相談支援センター連絡会議(7/10、2/5)、②東南部地域DV対策連絡協議会(2/4)、③5市1町女性相談ネットワーク会議(1/23)、④要保護児童対策地域協議会(4/18、5/16、6/20、7/18、8/15、9/17、10/17、11/21、12/19、1/16、2/10、3/13)に参加した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 会議参加回数			【成果指標】	
【目標】 3回			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 13回			【実績】 ー	
近隣市町、児童相談所、福祉事務所、埼玉県男女共同推進センター、教育事務所、警察署など、DV被害者支援の関係機関が参加する会議に参加し、情報や意見の交換等を行った。			他市町村と情報交換することで、現状の課題の吸い上げを行うことができた。また、関係機関と情報交換を行うことで、DV被害者の支援体制を充実させることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
各関係機関によって、立場が異なることから、DV被害者への関わり方が異なる面がある。			各関係機関によって体制の違いがあることを認識しながら、情報共有や意見交換を行う。	

109	事業名	県主催のDV被害者支援研修の受講	所管課所	こども家庭センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者支援に携わるケースワーカーに、DV被害者への二次的被害防止及び資質向上のための意識啓発並びに知識習得を図る。			県主催のDV被害者支援に関する研修を受講する。	
事業の実施内容				
4、5月に開催される、埼玉県主催のDV被害者支援に関する研修を受講した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 受講回数			【成果指標】 受講者数	
【目標】 1回			【目標】 1人	
【実績】 1回			【実績】 1人	
			DV被害者支援のための意識向上や知識の習得を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 IV 男女共同参画社会を阻む暴力の根絶
 施策の方針 7 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援
 取り組みの方向 (4) 関係機関との連携強化

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

110	事業名	DV防止対策と児童虐待防止対策との連携強化	所管課所	こども家庭センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
DV被害者の問題解決や自立支援に向けて適切な対応や二次的被害の防止を図る。			要保護児童対策地域協議会において、女性・DV相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）等の関係機関とDV防止と児童虐待防止の双方の対策を講じる。	
事業の実施内容				
年間を通じて、要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 会議開催回数			【成果指標】	
【目標】 12回			【目標】 ー	
【実績】 12回			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
会議を毎月実施することで関係機関との情報共有を行い、DV防止と児童虐待防止対策を図ることができた。			会議を毎月実施することで関係機関との情報共有を行い、DV防止と児童虐待防止対策を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	